



社会福祉法人
兵庫県社会福祉事業団

HYOGO SOCIAL WELFARE CORPORATION



令和2年度版

ごあいさつ

地域において少子高齢化が急速に進展している状況において、その地域の活力を維持していくことは非常に重要な課題となっています。

兵庫県社会福祉事業団では、令和2年度事業計画においても、「将来を見据えた今後5か年の中期経営方針～事業団の決意～」（平成30年度末策定）を踏まえ、地域の安全・安心拠点として、地元自治体や住民の方々等とも十分に連携を図りながら、新たなニーズや課題に積極的に対応していきます。

令和2年度、大規模な組織改革を実施しました。現場の状況を適確に把握し、迅速かつ柔軟な意思決定等を可能とするため「事業本部制」を導入し、「総合リハ事業本部」、「西播磨リハ事業本部」、「障害者等事業本部」、「高齢者事業本部」の4つの事業本部を設置しました。

また、将来に向けた人材の確保・育成を図るため、「働き方改革」を積極的に推進するとともに、多様な介護人材確保対策として、外国人技能実習生の受入・育成等についても実施します。

さらに、引き続き、万寿の家の建替整備事業や自立生活訓練センター大規模改修整備事業等を推進し、利用者の方々の居住環境等の改善・向上を図ります。

令和2年度も医療・福祉の専門集団として、様々なニーズ等に応えて参りますので、よろしくお願ひいたします。

令和2年4月

社会福祉法人 兵庫県社会福祉事業団
理事長 柏 紀夫



Contents -目次-

●概要

理事長あいさつ	1
目次、事業団のあらまし、 シンボルマーク説明	3
施設の位置図	4
事業団憲章	5
事業団職員倫理綱領	6
令和2年度当初予算	7
中期経営方針「事業団の決意」	8
令和2年度事業計画	9
事業団運営施設一覧	11
組織図	13
職員現員表	15

●総合リハビリテーションセンター

総合リハビリテーションセンター	16
中央病院	17
福祉のまちづくり研究所	19
職業能力開発施設	21
あけぼのの家	22
自立生活訓練センター	23
おおぞらのいえ	24
障害者スポーツ交流館	25
のぞみの家	26
地域ケア・リハビリテーション支援センター	27

●西播磨総合リハビリテーションセンター

西播磨総合リハビリテーションセンター	28
西播磨病院	29
研修交流センター	31
ふれあいスポーツ交流館	32

●障害児者施設・児童施設

小野起生園	33
小野福祉工場	34
出石精和園	35
五色精光園	37
赤穂精華園	39
丹南精明園	41
三木精愛園	42
ひまわりの森・笑顔の森むらおか	43
清水が丘学園	44
こども発達支援センター	45
障害福祉・児童福祉サービス等の説明	46

●高齢者施設

万寿の家	47
朝陽ヶ丘荘	48
たじま荘	49
ことぶき苑	50
あわじ荘	51
丹寿荘	52
くにうみの里	53
立雲の郷	54
洲本市五色健康福祉総合センター	55
高齢福祉サービス等の説明	57

●その他施設

浜坂温泉保養荘	58
---------	----

兵庫県社会福祉事業団 のあらまし

性 格

社会福祉施設を効率的、効果的に管理運営するために設立された社会福祉法人です。

目 的

多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会においておいて営むことができるよう支援するとともに、兵庫県及び兵庫県内各市町との密接な連携の下、広く県民福祉の向上と増進に寄与することを目的としています。

設 立

昭和39年7月1日

事業内容

県下63か所で92施設を運営しています。
(令和2年4月1日 現在)

シンボルマーク



ひょうごの「ひ」を図案化したもの
ので大空に羽ばたく鳩の姿と円
を基調に描き、事業団の活躍と
発展を表しています。

施設の位置図



》 兵庫県社会福祉事業団憲章 《

兵庫県社会福祉事業団は、自律ある社会福祉法人として、県とのパートナーシップのもと、福祉と医療に関する多様な機能を発揮して、誰もが“地域で支え合い、自分らしく生きる”ことができる社会の実現をめざし、着実かつ果敢にチャレンジするため、この憲章を定めます。

- 1 一人ひとりを尊重し、自らの意思と責任でその人らしい生き方ができるよう支援します
- 1 総合的な地域ケアのしくみを築き、福祉文化の創造をめざします
- 1 ニーズを敏感にとらえ、先駆的な実践により社会に貢献します
- 1 福祉の心と高い専門性を育み、働きがいのある職場をつくります
- 1 公正・効率的な組織運営と安定した経営基盤を確立します



》 兵庫県社会福祉事業団職員倫理綱領 《

私たちは、利用者一人ひとりが自分らしく自立した人生を歩めるよう、全力で質の高いサービスを提供します。

ここに、その責任と専門的役割を深く自覚し、ともに学び、ともに生きる姿勢で、公正かつ適切な支援と組織運営を行うための基本的な行動規範として「職員倫理綱領」を定めます。

1 人権の擁護

私たちは、利用者一人ひとりをかけがえのない存在として大切にします

1 利用者本位の支援

私たちは、良きパートナーとして、笑顔と思いやりのあるチームケアにより、最善のサービスを提供します

1 自己点検と改善

私たちは、日々のサービスを検証し、不服や苦情を真摯に受け止め、常に業務の改善に生かします

1 地域との協働

私たちは、持てる知識や技術を活かし、地域で支え合う仕組みを、ともに創ります

1 課題への挑戦

私たちは、ニーズを敏感にとらえ、常に挑戦者として、新たな課題の発見と解決に意欲的に取り組みます

1 専門性の向上

私たちは、日々研鑽し、切磋琢磨してサービスの質の向上に努めます

1 活気ある職場づくり

私たちは、厳しき中にも、活気があり、働きがいのある職場づくりに取り組みます

1 公正な事業活動

私たちは、法令等を順守するとともに、公正・効率的な事業活動を行います



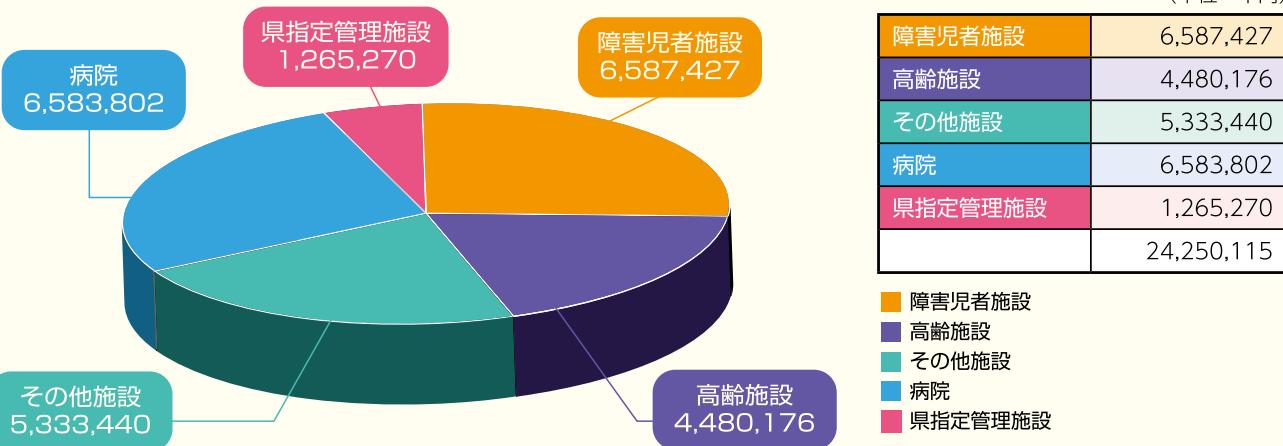
令和2年度当初予算

(単位：千円)

収 入		支 出			
	勘定科目		勘定科目		
	予算額		予算額		
事業活動による収支	介護保険事業収入	4,331,647	人件費支出	12,295,366	
	老人福祉事業収入	110,913	事業費支出	3,870,200	
	児童福祉事業収入	182,692	事務費支出	2,085,946	
	障害福祉サービス等事業収入	5,676,506	就労支援事業支出	294,364	
	生活保護事業収入	326,060	利用者負担軽減額	12,926	
	医療事業収入	6,193,798	支払利息支出	12,721	
	指定管理料収入	1,199,638	その他の支出	8,597	
	受託事業等収入	386,913	流動資産評価損等による資金減少額	0	
	経常経費補助金収入	478,011			
	経常経費寄附金収入	2,467			
	義肢装具製作等収入	13,578			
	自動車訓練収入	2,981			
	保育料収入	5,220			
	能開収入	608			
	保養所収入	135,880			
	参加費収入	45,307			
	過年度収入	23			
	その他の収入	57,052			
	受取利息配当金収入	3,710			
	就労支援事業収入	292,121			
事業活動収入計		19,445,125	事業活動支出計		18,580,120
施設整備等による収支	施設整備等補助金収入	227,310	設備資金借入金元金償還支出	66,522	
	設備資金借入金収入	850,000	固定資産取得支出	4,780,706	
	施設整備等収入計	1,077,310	施設整備等支出計	4,867,070	
その他の活動による収支	積立資産取崩収入	595,044	長期貸付金支出	14,844	
			積立資産支出	662,383	
			その他の活動による支出	56,661	
	その他の活動収入計	595,044	その他の活動支出計	733,888	
	前期未支払資金残高	3,132,636	予備費支出	50,000	
	収入計	24,250,115	支出計	24,231,078	

令和2年度当初予算内訳

(単位：千円)



将来を見据えた今後5年間の中期経営方針

～「事業団の決意」～

(取組期間:2019年度～2023年度)

これから私たちがめざす姿

私たちは、①人々の高齢化に対応していくこと、②人々の孤立化に対応していくこと、そして③地域の元気が低下しないように取り組んでいくことが必要と考えます。

そこで、①多くの「パートナー」と地域の元気を支える取組を展開すること、②地域共生社会を先導する新たな拠点づくりに挑戦すること、③地域の幅広い人々の安全・安心につながる多様なサービスを提供すること、④人材の確保・育成等を通じた堅実な運営を継続することをめざし、活動を展開します。

私たちが展開する「4つの柱」

1

地域の元気を支える 取組の展開

私たちのパートナーである地元の自治体、団体、企業、ボランティアの皆さんと連携して、施設を地域社会の一員として、そして、地域の安全・安心拠点として運営します

【主な取組内容】

- 事業団が事業展開する地域の実情・ニーズを踏まえ、「寺子屋プロジェクト」「コミュニティカフェ」「ギャラリー」等の地域交流を展開し、多世代交流ができるコミュニティを形成します
- 地元自治会や小学校PTA等と連携して高齢施設等に「共生食堂」を開設し、子どもから一人暮らしの中高年、お年寄りが地域との関係性を維持できるようサポートします
- 多様なニーズに応えるため、介護保険外サービスも柔軟に展開します

2

新たな挑戦

時代のニーズを見据え、高度な専門性を発揮しながら、新たな課題や分野に積極的に挑戦します

【主な取組内容】

- 「総合リハビリテーションセンター」において、リハビリテーションの県域拠点としての役割を充実・強化するとともに、健康寿命の延伸プログラムの展開やオープンカフェなどの新たな取組を行い、地域の「元気・長寿・安心」拠点の形成をめざします
- 子どもから高齢者・障害者、地域住民との交流を実現する「くにうみヴィレッジ」を開設し、地域の安全・安心拠点をめざします
- 新「万寿の家」は、県下特養のトップランナーとしてロボット機器の導入及びこれに伴う介護技術を先導・発信するとともに、地域の安心拠点としてユニバーサルな施設づくりをめざします

3

多様なサービスの 充実と展開

施設の利用者はもとより、地域の幅広い住民を利用者と捉え、利用者を元気にする活動を展開します

【主な取組内容】

- 住み慣れた地域や在宅でその人らしく最期まで過ごせるよう地域ニーズに即した「ラウンド・ケア・サービス」(「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」)を展開します
- 障害者の高齢・重度化に対応したグループホームを創設し、いつまでも地域・施設生活が継続できるよう取り組みます
- 利用者の高齢・重度化に対応するために、「ノーリフティングケア」「口腔ケア」「看取りケア」等の利用者支援を充実します

4

堅実な運営の継続

法人経営の永続的展開をめざし、事業活動の点検と強化に努めるなかで、将来に向けた人材の確保・育成と拠点施設の再構築に取り組みます

【主な取組内容】

- 誰もが働きやすい職場環境を実現し、多様な確保対策を講じ、専門人材の確保・育成をめざします
- 老朽化が進む施設の建替や大規模改修を計画的に実施します
- 「中期経営方針」に基づいた効果的・効率的な法人運営を推進します

令和2年度事業計画

1 地域の元気を支える取組の展開

- (1) 多世代交流ができるコミュニティの形成
 - ア 「寺子屋プロジェクト」等の実施
 - イ 地域の集いの場の提供
 - ウ 入居者や地域の方々が作品展示できるギャラリーの設置
- (2) 高齢者施設等での「共生食堂」の実施
- (3) 介護保険対象外サービスの柔軟な展開
 - ア 多様なニーズに応える介護保険対象外サービスの展開
 - イ その他
- (4) 地域交流行事（園祭・盆踊り等）の開催

- (5) 魅力ある浜坂温泉保養荘の運営
 - ア 地元住民をはじめ継続的にご利用いただける取組の展開
 - イ 各機関等への広報活動の実施
 - ウ セラピスト等による各種療法指導の実施
 - エ 温泉入浴指導員による効果的な入浴方法等の指導



▲くにうみ美術館(くにうみの里)

2 新たな挑戦

- (1) 総合リハビリテーションセンターにおける県域拠点としての役割の充実・強化
 - ア 障害者スポーツ支援拠点の充実
 - (ア) 障害者スポーツマルチサポート事業の推進
 - (イ) 一般スポーツ団体との交流事業の推進
 - (ウ) 東京パラリンピック開催記念スポーツ交流大会の実施
 - イ 障害者スポーツの普及・啓発
 - (ア) 障害児スポーツ活動拠点づくりの推進
 - (イ) 障害者施設等へのスポーツ支援プログラムの実施
 - ウ 県が設置するひょうご障害者総合トレーニングセンター（仮称）開設に向けた取組
 - (ア) リハ中央病院との連携
 - (イ) 福祉のまちづくり研究所との連携
 - エ 中央病院の新展開
 - (ア) 「スポーツ医学診療センター（仮称）」開設に向けた取り組みの推進
 - (イ) 回復期リハビリテーション病棟退院患者への訪問リハビリテーションの試行

- オ 新「福祉のまちづくり研究所」の構築
 - (ア) 新「福祉のまちづくり研究所」の構築に向けた取り組みの推進
 - (イ) 介護・福祉・医療連携の促進（介護口ボット開発支援の推進）
 - (ウ) 「本当に役立つもの」の研究・開発の推進
- (2) 西播磨リハの機能強化
 - ア 西播磨病院の機能強化
 - (ア) 摂食・嚥下支援センター（仮称）の開設
 - (イ) 神経難病リハビリテーションセンターの実施
 - イ 研修交流センターの充実
喀痰吸引等研修（医療的ケアコース）の実施
- (3) 「くにうみヴィレッジ」の開設に向けた取組の展開
- (4) 新「万寿の家」の移転整備及び開設



▲障害者グループホーム
(くにうみヴィレッジ)

3 多様なサービスの充実と展開

- (1) 「ラウンド・ケア・サービス（定期巡回・随時対応型訪問介護看護）」の充実展開
 - ア 「ラウンド・ケア・サービス」の充実
 - イ 「ラウンド・ケア・サービス」の開設準備
- (2) 高齢・重度化に対応した利用者支援の充実
 - ア ノーリフティングケア・介護技術向上の推進
 - (ア) ノーリフティングケアの推進・定着及び介護技術の向上
 - (イ) 「持ち上げない介護推進プロジェクト」の実施
 - イ 口腔ケアの取組
 - (ア) 障害者施設
 - (イ) 高齢者施設
 - ウ 看取りケアの取組
 - エ 認知症ケアの充実
 - オ 高齢障害者の高齢者施設（特養）での受入

- カ 利用者の重度化に対応する「介護口ボット」等の導入・効果検証
- キ 障害者施設における利用者の高齢・重度化への対応
- ク 強度行動障害への対応強化
- ケ 事故予防の取組
 - (ア) アセスメントの充実による事故リスクの減少
 - (イ) KYT（危険予知トレーニング）の推進
- コ 個別支援の実践及び研究等の推進
 - (ア) 職員研究・実践等発表大会
 - (イ) 支援の魅力、夢を叶えるプロジェクト発表大会
 - (ウ) 全事協職員実践報告・実務研究論文への応募
 - (エ) 海外派遣研修への積極的な参加

- (3) 「ひまわりラボ・プロジェクト」の充実
 - (ア) ひまわりラボにおける骨盤モデルや筋電義手などの事業団開発商品の製造・販売
 - (イ) 骨盤モデル普及推進チームによる販路の開拓
- (4) ニュークックチル方式による食事提供の実施
 - (ア) ニュークックチル方式による食事提供
 - (イ) 施設給食業務の改善と拡充
- (5) 障害児入所施設の再編・強化
 - (ア) 児童寮の成人施設転換にかかる取り組み
 - (イ) 障害児拠点施設としての専門性の向上
 - (ウ) 小規模グループケアの実施
- (6) 障害者の就労支援の促進
 - (ア) オーダー型在職障害者職業訓練の実施
 - (イ) ひょうごジョブコーチ推進事業の受託
 - (ウ) 障害者就業・生活支援センター事業の実施

- (7) 就労継続B型事業の利用者工賃の向上
- (8) 介助犬及び聴導犬認定事業の実施
- (9) 地域で自立した生活の充実
- (10) 高次脳機能障害者への支援体制強化
- (11) 地域リハビリテーション体制の推進
 - ア 兵庫県地域リハビリテーション支援センターの運営
 - イ 「全国リハビリテーション・ケア大会兵庫2021」開催に向けた準備委員会及び大会事務局の設置



▲介護リフト

4 堅実な運営の継続

- (1) 「働き方改革」の推進
 - (ア) 職員が働きやすい勤務体系・時間等の見直し
 - (ア) 「超過勤務縮減」の取組
 - (イ) 夜勤時間の見直し検討・試行の実施
 - (ウ) 勤務時間の多様化
 - (イ) ハラスメント対策の強化
 - (ウ) 雇用形態に関わらない公正な待遇の確保
 - (エ) 業務の効率化と職員の負担軽減（離職防止等）の実施
 - (ア) IT端末等を使用した業務の効率化及び職員の身体的・精神的負担の軽減
 - (イ) WEB端末を使用した会議、研修の実施
 - (オ) 企業主導型保育事業を活用した子育て世代への支援
 - (カ) 職場復帰に向けた施設における支援体制の確立
 - (キ) 管理監督職に占める女性職員の割合について35%以上を維持
 - (ク) 障害のある方の雇用の促進
- (2) 介護・福祉専門人材の育成・強化の推進
 - (ア) 介護福祉士の養成（高齢者施設・障害者施設）
 - (イ) 介護支援専門員・主任介護支援専門員の計画的養成（高齢者施設）
- (3) 多様な介護人材確保対策等の推進
 - (ア) 介護人材確保のために多様な確保対策等の検討・実施
 - (ア) 外国人技能実習生を高齢者施設等で受け入、育成
 - (イ) 資格取得に係る学生実習生の積極的な受け入
 - (ウ) 学生実習生及び近隣の大学等の学生に対するアルバイトの募集
 - (エ) キャリアアップ支援等制度の充実
 - (オ) 効果的な研修の実施
 - (カ) 将来に向けた幅広い層への福祉人材確保の取組
 - (ア) 支援員の確保対策
 - (イ) 看護師の確保対策
 - (カ) 都市部からの移住促進による人材確保

- (ウ) d アクティビティシニアの人材活用
- (イ) 幅広い世代へ福祉の魅力を発信
 - (ア) 地域の小中高等学校への「福祉学習」の実施
 - (イ) 大学等との継続的な「福祉授業」、サテライトゼミ開催
 - (ウ) 介護技術や認知症にかかる「出前講座」の開催
 - (エ) 福祉の魅力発信と体験イベント等の開催
- (ウ) 効果的な広報の推進
 - (ア) パンフレットの効果的活用
 - (イ) ホームページのスマート対応化の推進
- (4) 計画的な正規職員数（正規職員比率）の確保
- (5) 老朽化が進む施設の大規模改修や建替の計画的実施
 - (ア) 今後の事業展開を踏まえた大規模修繕の実施
 - (イ) 老朽化した施設の建替整備
- (6) 「中期経営方針」に基づいた効果的・効率的な法人運営の推進
 - (ア) ガバナンスの充実
 - (ア) 事業本部制の導入
 - (イ) 効果的、効率的な法人運営、経営・管理の推進
 - a 事業目標・経営管理（課題解決と経営管理の取組）
 - b 事業の見直し及び見直しの検討
 - c 新たな加算の取得による収支改善
 - (ウ) 財務規律及び収益管理の強化
 - (エ) リスク管理の取組
 - (イ) 施設建物や整備等の長寿命化の推進
 - (ウ) 県との協働による県施策の先導的役割の実践



▲WEB会議の様子

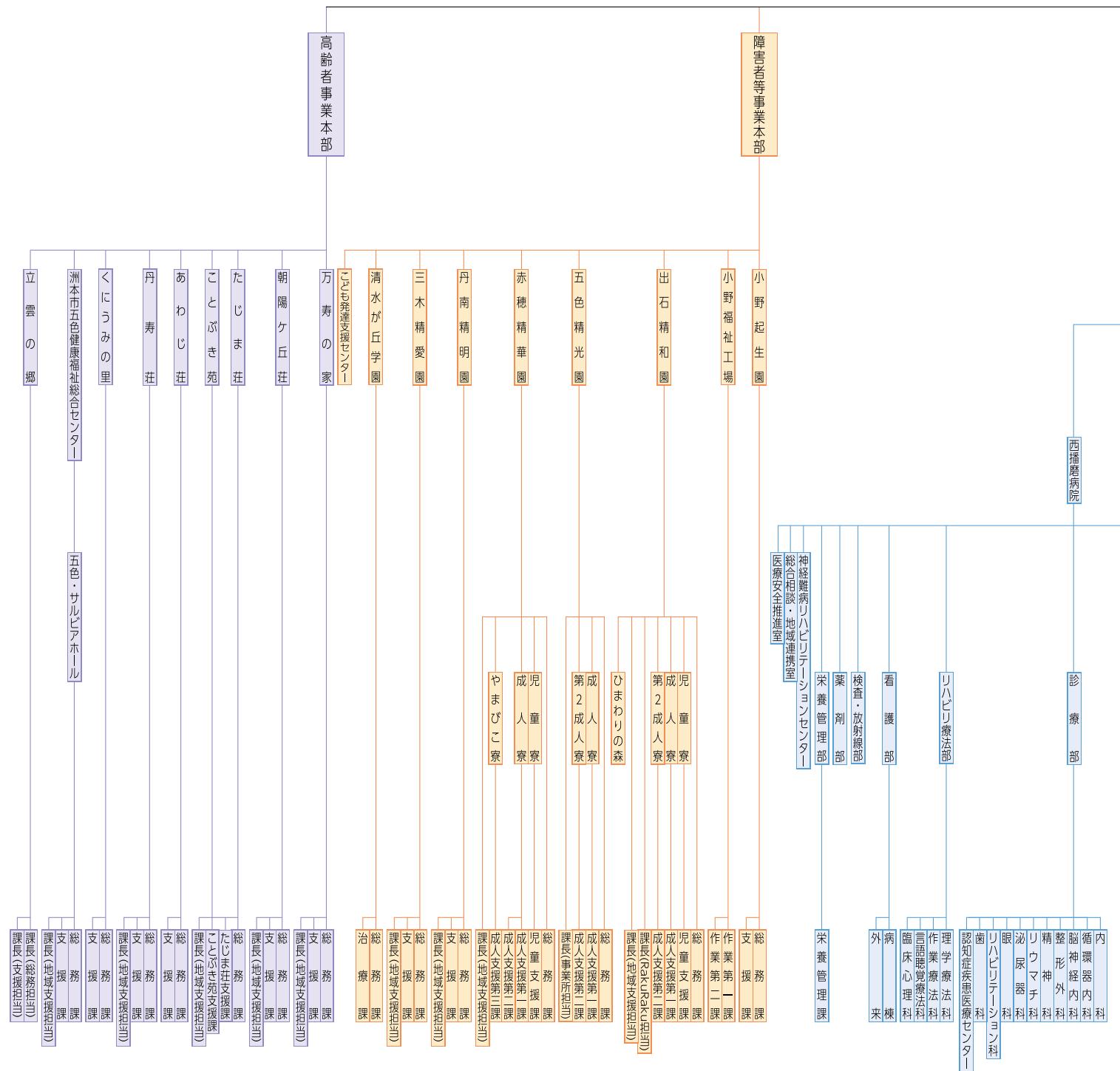
》 兵庫県社会福祉事業団 運営施設一覧 《

施設名	開設年月日	所在地	経営形態	頁数	
総合リハビリテーションセンター					
中央病院	S44.10.1	神戸市西区曙町	兵庫県指定管理	17	
救護施設 のぞみの家	S41.4.1		自主経営	26	
職業能力開発施設	S52.7.1		兵庫県指定管理	21	
多機能型事業所 あけばのの家	S43.4.1		自主経営	22	
障害者支援施設 自立生活訓練センター	H5.11.1		23		
障害児入所施設 おおぞらのいえ	H20.4.1		24		
障害者スポーツ交流館	H18.5.1		兵庫県指定管理	25	
福祉のまちづくり研究所	H5.10.20			19	
地域ケア・リハビリテーション支援センター	H23.4.1		自主経営	27	
西播磨総合リハビリテーションセンター					
西播磨病院	H18.7.1	たつの市新宮町光都	兵庫県指定管理	29	
研修交流センター	H18.7.1			31	
ふれあいスポーツ交流館	H17.4.1			32	
児童心理治療施設					
清水が丘学園	S50.5.1	明石市魚住町清水	兵庫県指定管理	44	
こども発達支援センター	H24.4.1	明石市魚住町清水	兵庫県指定管理	45	
洲本市五色健康福祉総合センター					
五色・サルビアホール（特別養護老人ホーム）	H21.4.1	洲本市五色町都志大日	洲本市指定管理	55	
五色グループホーム	H21.4.1				
五色生活支援ハウス	H21.4.1				
グループホームひろいしの里	H20.5.1				
特別養護老人ホーム（総合リハ・洲本市五色健康福祉総合センター内施設を除く）					
万寿の家	S41.4.1 (R2.10移転予定)	神戸市西区曙町 (神戸市北区鳴子)	自主経営	47	
朝陽ヶ丘荘	S47.8.1	佐用郡佐用町平福		48	
たじま荘	S49.5.1	豊岡市日高町十戸		49	
あわじ荘	S49.10.1	淡路市野島		51	
シルバーサポート のじま	H26.10.6				
丹寿荘	S51.5.1	丹波市市島町上竹田		52	
グループホーム 村いちばんの元気者	H19.9.1				
くにうみの里	H28.11.1	洲本市下加茂		53	
養護老人ホーム					
ことぶき苑	H21.4.1	豊岡市日高町祢布	自主経営	50	
立雲の郷					
とらふす道場（健康プラザ）	H20.5.24	朝来市和田山町竹田	自主経営	54	
グループホームたけだ遊友館	H20.4.1				
障害者更生センター					
浜坂温泉保養荘	S58.12.1	美方郡新温泉町浜坂	自主経営	58	

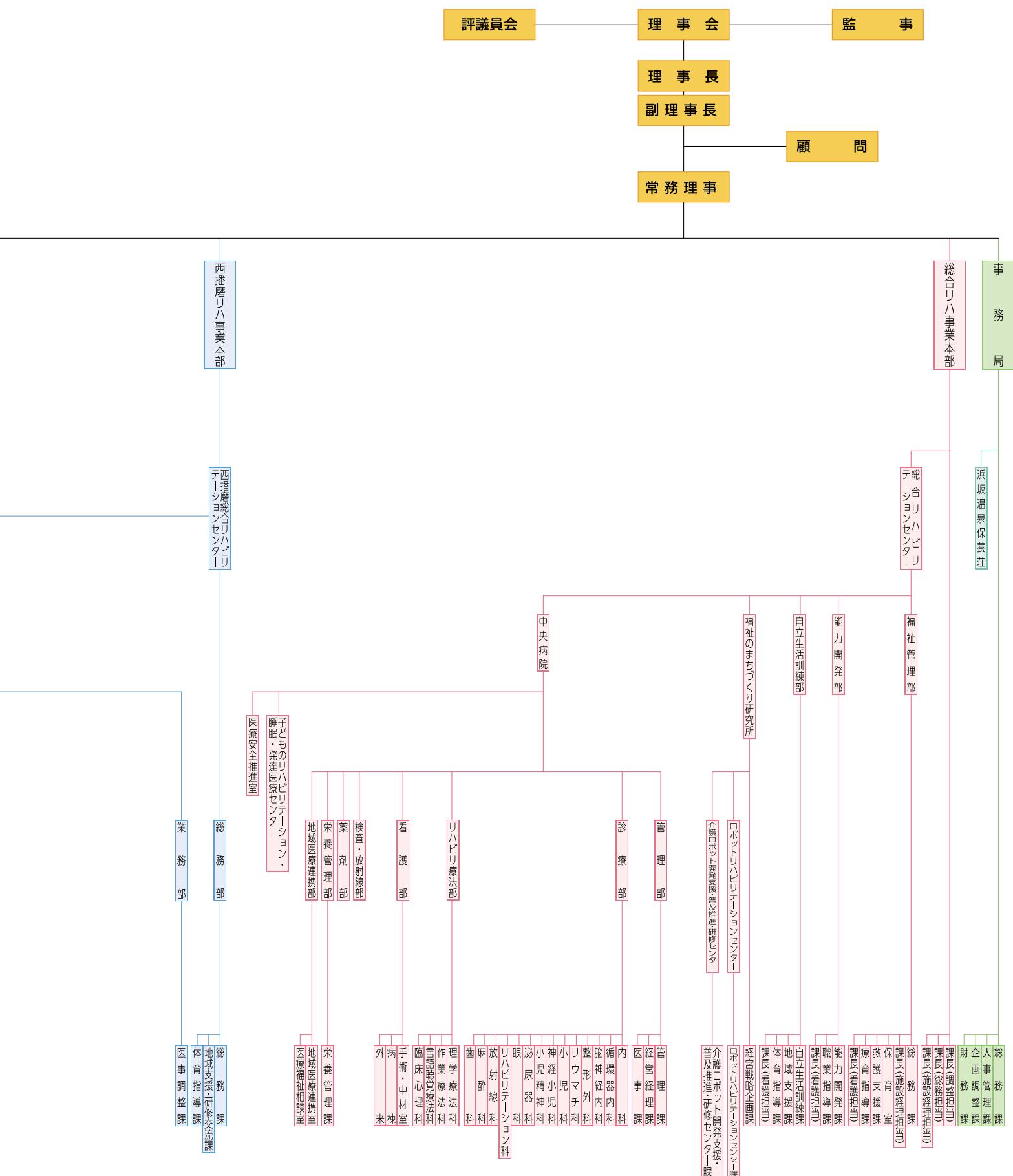
施設名	開設年月日	所在地	経営形態	頁数
障害児入所施設・障害者支援施設・障害福祉サービス等（総合リハ内施設を除く）				
小野起生園	H10.7.1	小野市新部町1丁通		33
小野福祉工場	H10.7.1			34
出石精和園	児童寮	S41.10.1	豊岡市出石町宮内	35
	成人寮	S52.5.1	豊岡市出石町荒木	
	第2成人寮	H12.6.1	豊岡市出石町宮内	
	ひまわりの森	H22.4.1	美方郡香美町香住区森	
	笑顔の森むらおか	H22.4.1	美方郡香美町村岡区村岡	
RakuRaku	H24.4.1	豊岡市出石町町分		43
				36
五色精光園	成人寮	S53.8.1	洲本市五色町広石北	37
	第2成人寮	S45.4.1	洲本市五色町下堺	
	かがやき事業所	H20.4.1	洲本市五色町都志大日	
	あゆみの部屋事業所	H21.4.1	洲本市五色町鮎原小山田	
	コスモス事業所	H21.4.1	洲本市池内	
赤穂精華園	児童寮	S46.11.1		39
	成人寮	S46.11.1	赤穂市大津	
	やまびこ寮	S49.4.1		
丹南精明園	S54.6.1	丹波篠山市西吉佐		41
三木精愛園	S57.8.1	三木市緑が丘町本町		42

施設名	定員	開設年月日	所在地	経営形態
共同生活援助事業（★は主たる事業所）				
小野起生園	サンリット小野 サンリット起生	8 8	H25.9.1 H25.12.1	小野市黒川町
出石精和園	こぶし荘（定員7名の内サテライト1名含む）	7	H7.4.1	豊岡市出石町町分
	いすし野	6	H15.10.1	豊岡市出石町東條
	★ クレパス	10	H16.10.1	豊岡市日高町浅倉
	あじさい	10	H17.10.1	豊岡市出石町町分
	和（なごみ）	7	H18.10.1	豊岡市出石町宮内
五色精光園	ドリームハイツイズシ	6	H22.2.1	豊岡市出石町町分
	★ レジデンスカスミ A	5	H21.7.1	
	レジデンスカスミ B	5	H21.7.1	美方郡香美町香住区若松
	レジデンスカスミ C	5	H24.4.1	
	あおぞら	5	H16.10.1	洲本市五色町広石中
赤穂精華園	スイートピー I	9	H17.12.1	
	スイートピー II	8	H17.12.1	
	マーガレット I	6	H18.4.1	洲本市五色町都志万歳
	マーガレット II	6	H18.4.1	
	マーガレット III	6	H18.4.1	
丹南精明園	★ かがやき	10	H20.4.1	洲本市五色町都志大日
	はあと	4	H15.4.1	赤穂市加里屋
	いちご	3	H15.10.1	赤穂市塩屋
	きぼう	3	H16.4.1	赤穂市新田居村
	みかん	3	H16.4.1	赤穂市塩屋
三木精愛園	ともだち	5	H16.10.1	赤穂市加里屋
	とまと（定員6名の内サテライト1名含む）	6	H17.4.1	赤穂市加里屋上町
	ひかり	4	H17.4.1	
	ひびき	4	H17.12.1	赤穂市塩屋
	ほのか	12	H19.4.1	赤穂市大津
	★ あかほ	8	H22.11.1	赤穂市大津
	ハッピー	5	H15.10.1	丹波篠山市東岡屋
	そら	5	H17.10.1	丹波篠山市住吉台
	ゆめ	4	H17.10.1	丹波篠山市吳服町
	★ にじ	10	H20.5.1	丹波篠山市中野
	だいち	10	H20.5.1	
	ホープ	4	H24.5.1	丹波篠山市東吹
	★ ひまわりの家	4	H17.4.1	三木市緑が丘町中
	えんどう豆の家	4	H17.10.1	三木市緑が丘町東
	そら豆の家	4	H18.4.1	三木市緑が丘町中
	ピーナッツの家	4	H18.6.1	三木市緑が丘町本町
	ココナッツの家	4	H20.11.1	三木市緑が丘町東
	うぐいす豆の家	4	H21.10.1	三木市緑が丘町西

令和2年度 組織図



兵庫県社会福祉事業団



職員現員表

(R2.4.1現在、単位：人)

施設名	職名	支 援 員	看 護 師	事 務 職 員	理 学 療 法 士	作 業 療 法 士	言 語 聽 覚 士	医 師	栄 養 士	心理判定員・心理治療士	体 育 指 導 員	臨 床 檢 查 技 師	診 療 放 射 線 技 師	藥 劑	医療ソーシャルワーカー	研 究 員	そ の 他	計	
事務局				25													3	28	
総合リハ事業本部				5	1			1										7	
西播磨リハ事業本部				1				1										2	
障害者等事業本部				3														3	
高齢者事業本部				3													1	4	
総合リハビリテーションセンター		93	195	34	54	38	21	31	8	5	6	11	7	8	6	7	190	714	
福祉管理部		38	4	11					1								30	84	
総務課・保育室		3		11													10	24	
救護支援課（のぞみの家）		21	2						1								12	36	
療育指導課（おおぞらのいえ）		14	2														8	24	
能力開発部		23		1													13	37	
能力開発課（職業能力開発施設）		13		1													7	21	
職業指導課（あけぼのの家）		10															6	16	
自立生活訓練部		27	5	2	8	5	1		2		6						35	91	
自立生活訓練課（自立生活訓練センター）		21	2	1	3	2			2								23	54	
地域支援課（地域ケア・リハビリテーション支援センター）		6	3	1	5	3	1										8	27	
体育指導課（障害者スポーツ交流館）											6						4	10	
福祉のまちづくり研究所		5		6		1											7	12	
中央病院			186	14	46	32	20	31	5	5	11	7	8	6		100	471		
管理部（管理課・経営経理課・医事課）					13												11	24	
診療部								31									44	75	
リハビリ療法部						46	32	20		5							7	110	
看護部				182													35	217	
検査・放射線部												11	7					18	
薬剤部													8				1	9	
栄養管理部									5								1	6	
地域医療連携部（地域医療連携室・医療福祉相談室）		3	1										6					10	
医療安全推進室		1															1	2	
西播磨総合リハビリテーションセンター		3	56	9	24	21	12	9	2	3	5	3	4	3	2	1	69	226	
総務部		2		6							5						1	32	
総務課				5													7	12	
地域支援・研修交流課（研修交流センター）		2		1													1	4	
体育指導課（ふれあいスポーツ交流館）										5							21	26	
西播磨病院		1	56	3	24	21	12	9	2	3	3	4	3	2			37	180	
業務部（医事調整課）				3													4	7	
診療部		1						9									18	28	
リハビリ療法部						23	20	12		3							2	60	
看護部			54														13	67	
検査・放射線部											3	4						7	
薬剤部													3					3	
栄養管理部									2									2	
総合相談・地域連携室			2		1	1									2			6	
小野起生園		12	1	4						1								35	53
小野福祉工場		2		1														44	47
出石精和園		85	4	5						2								174	270
児童寮		15	1															7	23
成人寮		44	2	4					1									120	171
第2成人寮		15	1	1					1									15	33
ひまわりの森		11																32	43
五色精光園		80	2	5					3									118	208
成人寮		64	2	4					1									110	181
第2成人寮		16		1					2									8	27
赤穂精華園		86	5	7					2									127	227
児童寮		17	1	1														21	40
成人寮		61	3	5					1									89	159
やまびこ寮		8	1	1					1									17	28
丹南精明園		44	2	5					1									95	147
三木精愛園		46	2	5					1									81	135
清水が丘学園		24	1	3					1	11								9	49
こども発達支援センター		2	1	1		1	2	2		2								8	19
万寿の家		31	1	3		2			1									32	70
朝陽ヶ丘荘		36	5	3						1								46	91
たじま荘		42	4	4						1								58	109
ことぶき苑		19	1	1						1								20	42
あわじ荘		34	3	4			1		1									44	87
丹寿荘		54	4	4					1									62	125
くにうみの里		44	3	3		1			1									42	94
洲本市五色健康福祉総合センター		56	4	5					1									56	122
立雲の郷		15	5	2	2							1						13	38
浜坂温泉保養荘					4													25	29
合 計		808	299	149	81	63	36	44	29	21	12	14	11	11	8	8	1352	2946	

(注)2,946人の内訳 常勤職員(正規職員、契約職員等)2,040人 非常勤職員906人

総合リハビリテーションセンター

リハビリテーションにおける 県域の中核施設

〒651-2181 神戸市西区曙町1070

TEL 078-927-2727(代) FAX 078-928-7590

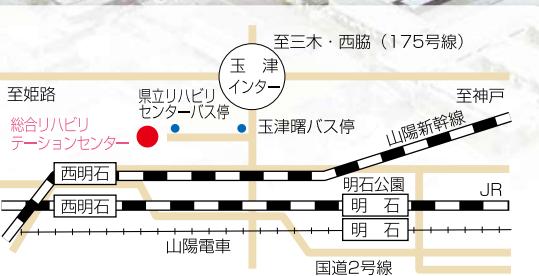
E-mail info_riha@hwc.or.jp

<http://www.hwc.or.jp/rihacenter/>

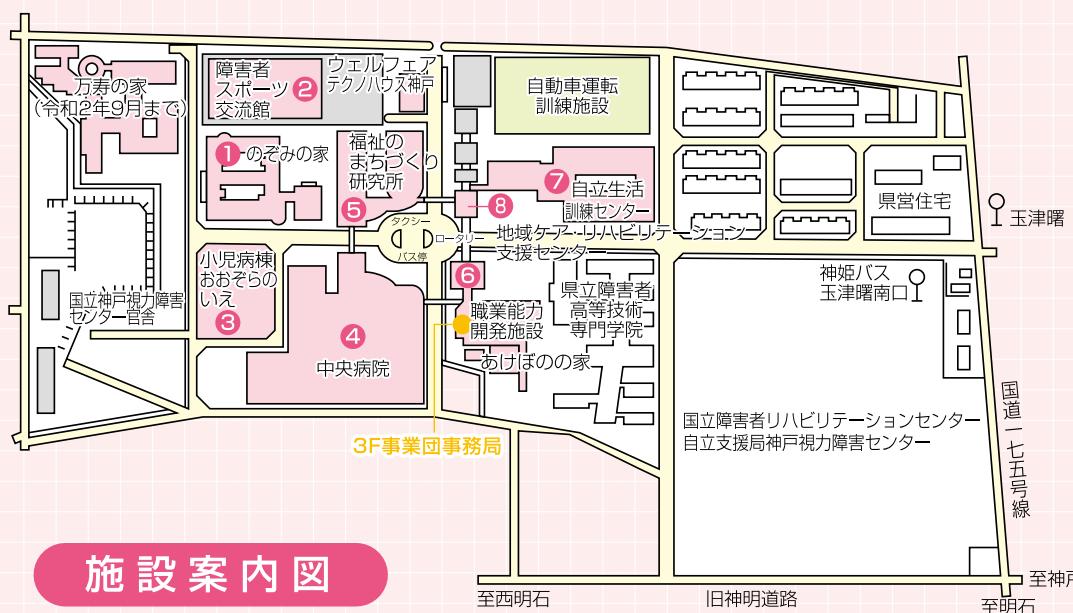


総合リハビリテーションセンター の運営理念

- 1 リハビリテーションにおける県域の中核施設をめざすこと
 - 2 高度で専門的なリハビリテーションを中心とした保健・医療・福祉の総合的なサービスを提供し、障害者等の全人間的復権をめざすこと
 - 3 専門的な研究・研修機能を充実し、情報提供及び人材養成を行なうなど先導的役割を果たすこと



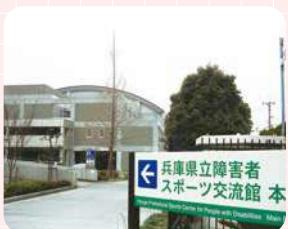
JR「西明石」駅から車で5分、徒歩25分
JR「明石」駅からバスで10分
第2神明道路玉津ICから南へ約2km



施設案内図



① のぞみの家



② 障害者スポーツ交流館



③ 小児病棟・おおぞらのいえ



④ 中央病院



⑤ 福祉のまちづくり研究所



⑥ 職業能力開発施設・ あけばのの家



⑦ 自立生活訓練センター



The image shows the exterior of a modern building with large glass windows and doors. A yellow tactile paving strip leads up to the entrance. The building has a light-colored facade and is surrounded by greenery.

中央病院

リハビリテーションにおける 兵庫県域の中核病院

総合リハビリ
ーションセンター

病床数

一般病床	330床
脳血管障害など回復期リハビリ病棟	100床
神経難病・高次脳機能障害など	50床
切断・脊髄損傷・泌尿器科疾患など	50床
骨関節疾患・脊椎疾患など	100床
小児整形疾患など	30床

診療科目

内科・循環器内科・脳神経内科・整形外科・リウマチ科・
小児科・神経小児科・小児精神科・泌尿器科・眼科・
リハビリテーション科・放射線科・麻酔科・歯科

アクセスは16ページをご覧下さい

〒651-2181 神戸市西区曙町1070 TEL 078-927-2727㈹ FAX 078-925-9203
(総合リハビリテーションセンター内) E-mail info_hp@hwc.or.jp
<http://www.hwc.or.jp/hospital/>



安全で質の高い先導的なリハビリ医療

兵庫県におけるリハビリテーション医療の中核病院として、地域で対応困難な重度の障害者を対象に高度で専門的かつ総合的なリハビリテーション医療を提供しています。

リハビリテーション医療の経験豊かな内科・脳神経内科・整形外科等の専門医、理学・作業療法士及び言語聴覚士等の専門職員が一体となったチームアプローチによる医療が特色です。

さまざまなりハビリに対応した設備

各病棟に電動スリーカランクギャジベッドを採用し、脊髄損傷患者に対応した病棟の居室、浴室・トイレにはリフターを設置しています。また、充実したリハビリができるよう、広大なアトリウムからなる理学療法室、日常生活に不可欠な設備が整った作業療法室、リラックスしてコミュニケーションの取りやすい個室のある言語聴覚療法室、屋外での歩行練習や坂道・階段の昇降練習などをを行う屋外練習場など、さまざまな設備を整えています。



▲リフター



▲運動療法アトリウム



▲屋外リハビリ広場

●職員 Voice



看護師
濱脇 光生

中央病院には、社会復帰に向けリハビリに取り組んでおられる患者さんが入院しています。看護師は退院後の生活を見据え、患者さんがリハビリを行ったことを、日々の生活中で活かせるよう支援しています。また患者さんが安心して在宅に帰られるよう、多職種で協働しながら関わっています。患者さんに寄り添い、思いやりのある看護が提供できるよう努めています。

子どものリハビリテーション・ 睡眠・発達医療センター

2019年4月1日、小児部門を改編し、名称を「子どものリハビリテーション・睡眠・発達医療センター」としました。チーム医療を一層推進し、地域の関連施設との連携を図り、小児整形外科疾患、脳性麻痺、肢体不自由、睡眠障害、自閉スペクトラム症、注意欠如・多動症、発達性協調運動症、限局性学習症などの診療とリハビリテーションを行います。

リハビリテーションでは、粗大運動・日常生活・学習活動などの発達を支援するとともに、言語発達の促進や摂食・嚥下機能の向上を促す支援、発達・知能・情緒の心理検査も行っています。

小児整形外科部門では、先天性内反足、筋性斜頸、発育性股関節脱臼など代表的疾患の他に、多指症や母指形成不全などの上肢の先天異常、四肢変形や短縮、骨系統疾患などの手術的加療も含めた診療を行っています。

肢体不自由部門では、脳性麻痺、二分脊椎、運動発達遅滞などを専門的視野で評価し、目標を設定して、発達の促進や機能の回復を目的としたリハビリテーションを行っています。また、年齢や状態にあった補装具も提供します。

睡眠障害・発達障害部門では、睡眠障害と体内時計の乱れによる脳機能低下・体力低下・自律神経失調症になった子どもの診療を行っています。睡眠障害を伴う発達障害児の早期リハビリテーションにも取り組んでいます。



▲小児リハビリテーション室

地域の関係機関との連携及び患者サービスの向上

地域医療連携室では、患者が安心して医療を受けられるよう、地域の医療機関や関係機関との効率的な連携を図ります。

後方支援である医療福祉相談室では、病院利用者やそのご家族が入院から退院まで、さらにその後の生活上の解決しなければならないさまざまな問題に関して、医療ソーシャルワーカーや退院支援看護師が相談を受け、専門的立場から支援を行います。



地域の関係機関との連携▲

脳血管疾患及び頭部外傷患者並びに脊髄損傷等の重度障害者へのリハビリテーション医療

脳血管疾患・頭部外傷・脊髄疾患・神経疾患などによって引き起こされる麻痺や言語障害を中心とした「機能障害」、日常生活動作における「能力障害」、さらには住まいや環境に関して社会復帰を妨げている「社会的不利」の状況に対応して、段階的にリハビリテーション治療プログラムを作り、種々の専門職からなるチームアプローチ及び病院内外の多くの部門との連携を行い、社会復帰に向けた治療を行います。



人工関節置換術等の手術医療

変形性股関節症や膝関節症などに対する人工関節手術、リウマチの患者に対する関節手術や人工関節手術、靭帯損傷などのスポーツ傷害に対する手術、頸椎や腰椎などの脊椎疾患に対する手術を行っています。

また、平成28年11月からは「人工関節センター」を設置し、膝や股関節の疾患に対する人工関節置換術とそれに対応した効果的なリハビリテーションを、患者ニーズに応じて積極的に推進しています。



神経難病等への対応

パーキンソン病や重症筋無力症などの神経難病、アルツハイマー病やその他の認知症などの神経変性疾患、ギラン・バレー症候群や慢性炎症性脱髓性多発根神経炎などの末しょう神経疾患に対し、神経筋生検などの病理学的検査、脳波・誘発筋電図・誘発脳波などの神経生理学的検査、CTやMRIなどの画像検査を実施し、診断精度の向上と治療・リハビリテーション方法の改善に取り組んでいます。



高次脳機能障害のリハビリテーション

頭部外傷の後遺症などによる高次脳機能障害に対し、作業療法士及び言語聴覚士によるリハビリテーション、心理判定員による経過観察評価とリハビリテーション等を行うとともに、総合リハビリテーションセンター内の社会・職業リハビリテーションとも連携し、在宅復帰に向けた支援を行っています。



患者向け教室

糖尿病に関する「生活習慣病を学ぼう会」、関節リウマチに関する「リウマチ教室」及び「脊髄損傷者の性機能に関する講習会」を主に入院患者を対象として実施しています。



最先端ロボット機器を用いたリハビリ

福祉のまちづくり研究所のロボットリハビリテーションセンターと連携し、ロボットテクノロジーを活用したリハビリの研究・開発・実践を行っています。筋肉の信号でハンドを動かすことができる電動の義手(筋電義手)、コンピュータ制御の高機能な義足、下肢に装着して歩行再建支援を行うロボットなど、人間装着型の最先端ロボット機器を用いたリハビリを行うとともに、新たなリハビリ・生活支援のためのロボット機器の研究・開発に取り組んでいます。



▲筋電義手の訓練

泌尿器疾患への対応

脳卒中や脊髄損傷などの神経疾患に伴う排尿障害や性機能障害に対する診療・相談などを行っています。また、女性の尿漏れや排尿障害、膀胱脱などに対する専門外来として、女性排尿ケア外来を行っています。

音楽療法

脳卒中などの後遺症やパーキンソン病などに対して、音楽療法士による楽器演奏や歌唱を通じた注意障害の改善、手指や呼吸機能の維持、歩行時のリズム調整等の訓練を行っています。



福祉のまちづくり研究所

ロボットリハビリテーションセンター

※「ロボットリハビリ」は社会福祉法人兵庫県社会福祉事業団の登録商標です。

介護ロボット開発支援・普及推進・研修センター

新たなる技術で
未来を切り拓く

総合リハビリ
ーションセンター

〒651-2181 神戸市西区曙町1070

(総合リハビリテーションセンター内)



ロボットリハビリテーションセンター・研究部門

TEL 078-925-9283 FAX 078-925-9284

E-mail info00@assistech.hwc.or.jp

アクセスは16ページをご覧下さい

●職員 Voice



研究員
本田 雄一郎

福祉のまちづくり研究所に勤務して8年目となります。この間、ロボットリハビリテーションセンターで、エンジニアとして病院スタッフと連携した研究開発活動ができ、さまざまなプロジェクトを進めることができました。製品化されて直接ユーザーの手に届く開発成果も出てきました。国内唯一ともいえる条件の揃った開発環境にて、これからも「本当に役立つものづくり」を進めていきます。

介護ロボット開発支援・普及推進・研修センター

開発支援窓口

TEL 078-927-2755 FAX 078-920-9807

E-mail robo-shien@assistech.hwc.or.jp

福祉用具展示ホール

TEL 078-927-2727(代表) FAX 078-927-2752

E-mail tenji@hwc.or.jp

研修担当

TEL 078-927-2727(代表) FAX 078-925-4657

E-mail kensyu@hwc.or.jp

新福祉のまちづくり研究所の構築

少子・高齢社会などの課題を見据え、次世代に向けたさまざまな課題に対応して兵庫県が標榜するユニバーサル社会の実現に資するため、10年後の未来を視野にグローバルな視点を加えた研究開発・教育研修機能を備えた新たな研究所を構築します。

ロボットリハビリテーションセンター

総合リハビリテーションセンター内にある立地環境を活かし、医療施設や高齢者施設、障害者支援施設等の現場ニーズに基づいた介護リハビリロボットや福祉用具の研究開発を進めています。臨床現場やメーカー、大学等との連携を図りながら、研究のみならず実用的な機器を社会に送り出すための活動に精力的に取り組んでいます。

●ロボットテクノロジミッション

これまでに企業と共に、人工股関節手術支援骨盤モデルや成人男性用筋電電動義手や排泄支援装置を実用化してきました。今後もロボット技術応用研究開発をさらに広げ、新しい小児用筋電義手や排泄時の介助動作を支援するロボット等の開発を行います。



▲術前検討に使用される骨盤モデル



▲改良型筋電義手



▲排泄支援装置ESコート

●AI・コミュニケーションミッション

AI技術により、筋力計測スクリーニングシステムであるBody-KIN®をより高精度にする研究を行い、介護予防に取り組む県下市町に有効に活用していただく活動に取り組みます。また、視覚・聴覚・触覚等の感覚統合能力を定量的に評価するシステムを構築し、リハビリテーションに役立てる研究を行うほか、引き続き認知症の人と家族の方々の住まい方を支援する研究開発も実施します。



▲筋力計測スクリーニング(Body-KIN)

補装具の製作・修理

障害者総合支援法に基づき小児筋電義手を中心とした補装具の製作・修理を実施しています。



▲補装具の製作・修理

小児筋電義手バンク

小児筋電義手バンクは、子ども用の筋電義手(筋肉が収縮する際に発生する微弱な電流を利用して動かすことができる電動の義手)の普及を目的として設立されました。

兵庫県をはじめ、全国各地の多くの皆さまから温かなご厚意をいただきしております、筋電義手を必要とするお子さまへの訓練用筋電義手の無償貸出しや小児筋電義手の訓練を行う人材の育成などに活用させていただいております。

介護ロボット開発支援・普及推進・研修センター

●開発支援

センターでは相談窓口を設置し、企業の開発に向けた情報提供やアドバイス支援を行っています。2階には居室や廊下・トイレなど実際の生活空間を再現する次世代型住モデル空間を整え、セラピストや研究員等が計測機器を用いて、使いやすさの実証評価を行い、本当に役立つ福祉用具や介護ロボットの開発につながるよう支援しています。また、今年度から新たに企業・ユーザー等との交流スペース「ニーズ・シーズ 介護ロボサロン」を整備し、更に真のニーズから始まる開発、普及に向けて取り組んでまいります。

● 普及推進

次世代型住モデル空間を活用した介護口ボットの導入支援を行っています。

福祉用具展示ホールでは、代表的な介護ロボット28点をはじめ、約700点の常設展示を通じて、相談支援や情報提供を行っています。また、特別展示会やセミナーなどのイベントを開催し、広く関係者に向けた普及推進を図っています。



▲福祉用具展示ホール



▲次世代型住モデル空間 介護負担量の評価

研修

誰もが住み慣れた地域で安心して生活できるまちづくりの一環として、高齢者介護・障害者支援にかかわる専門的人材の育成を目的に、兵庫県から委託を受け、法定研修を実施しています。また、法定研修修了者のフォローアップ研修やノーリフティングケアの普及に向けた研修なども開催しています。



●持ち上げない介護推進プロジェクト

「抱え上げない、持ち上げない、引きずらないケア」をめざし、「介護する側・受けける側双方の安全・安心なサービス提供・ケアの取組」の普及啓発を目的に、「持ち上げない介護推進プロジェクト」を立ち上げ、「ノーリフティングケア研修」を実施するとともに、「ひょうごノーリフティングケアモデル施設」と協力しながら、県内の介護施設等への普及活動を推進しています。



職業能力開発施設

障害のある方の『働きたい』に応えます

〒651-2181 神戸市西区曙町1070
(総合リハビリテーションセンター内)
TEL 078-927-2727(㈹) FAX 078-925-9223
E-mail noukai@hwc.or.jp
<http://www.hwc.or.jp/noukai/>



アクセスは16ページをご覧下さい



幅広い視点の評価と実務に向けた訓練

●職業評価・訓練

ライン作業やピッキング作業などのワークサンプル(作業標本)をはじめ、事務作業、パソコン操作等、さまざまな視点から就業に向けて必要とされる作業能力や労働生活習慣の評価をし、適切な進路や訓練目標の設定につなげています。また、必要に応じて反復的な模擬訓練から実践的な訓練の他、日商PC検定の資格取得に向けた訓練も行っています。

●在校生職能評価

特別支援学校等の在校生を対象に、2~4日間の日程で現状の能力や課題を評価し、適切な進路や訓練目標の設定につなげています。県下、多くの特別支援学校等に利用いただいている。



▲評価ワークサンプル

さまざまな事業で、全県の就労支援の推進を担って

●障害者雇用・就業支援ネットワーク

障害者雇用推進に向けて、就労支援関係機関から当事者団体、事業主から労働組合まで含め、全県的に連携を進めていくシステムの事務局を担当しています。

●ひょうごジョブコーチの養成・登録派遣

障害者の職場定着の充実を図るため、県独自のジョブコーチの養成、登録、派遣を行います。

●高次脳機能障害のある方の評価・訓練システムの開発

高次脳機能障害のある方の職能評価の充実や、開発(訓練)部門を創設し、より実践的な訓練を行います。

●障害者しごと体験

就職を希望する障害者に就労体験や職場見学等しごと体験の機会を提供するために、受入企業(協力企業)の開拓・確保から、しごと体験の実施調整等を行います。

●重点分野(清掃・介護)における就労促進

就労に必要な基礎知識と技術習得を、専門家から教わる研修会を開きます。介護研修においては、知的障害者等を対象に「生活援助従事者」の資格取得に向けた研修を行います。

●障害福祉サービス事業所の工賃向上支援

障害福祉サービス事業所の作業技術向上の支援を行います。そこで作られた商品の販路開拓等を支援します。



▲障害福祉サービス事業所の工賃向上支援



▲障害者しごと体験



▲重点分野(清掃)における就労促進



▲重点分野(介護)における就労促進

●職員 Voice



職能評価員
品川 幸子

職業能力開発施設では、特別支援学校の生徒や、障害のある方の就職や復職に向けた職能評価、開発訓練を行っています。利用者一人ひとりの適性や課題を見つけ、将来の就職に向けた訓練や支援の方法を一緒に考えています。

当施設での評価や訓練を通し、一人ひとりに合った仕事につながるよう職員一丸となって取り組んでいます。

●その他の事業

- ・ビルメンテナンス技術習得訓練事業
- ・職業ガイダンス
- ・就労移行支援事業 (B型アセスメントのみ)

あけぼのの家

障害のある方々の
「働く」を応援します

〒651-2181 神戸市西区曙町1070番地
(総合リハビリテーションセンター内)

TEL 078-927-2727(代) FAX 078-925-9228

E-mail info_akebono@hwc.or.jp
<http://www.hwc.or.jp/akebono/>

アクセスは16ページをご覧下さい



ボーノちゃん

総合リハビリ
テーションセンター

多機能型事業所

就労移行支援 10名 就効定着支援
就労継続支援B型 40名



障害者の就労を応援

障害のある方に働く場を提供し、自立した日常生活と社会経済活動の参加を応援するとともに、企業等に就職して働き続ける力をつける訓練など、個々のニーズに寄り添ったさまざまな就労支援サービスを提供しています。

高工賃を目指して

障害のある方々の働く場を提供し、高工賃支給のため、さまざまな生産活動支援を行っています。

また、個別支援の必要な方や段取り・手順が理解できる方など、一人ひとりに合わせた作業の仕方を工夫しています。

職員食堂(キッチン・アケボーノ)のランチ製造販売、企業から受託した部品加工、名刺・冊子等のデザインや印刷、病院の植栽管理、総合リハビリテーションセンター内の清掃等、多様な活動機会の提供を行っています。

就労継続支援B型事業



▲軽作業



▲清掃

▲食品加工(キッチン・アケボーノ)



▲軽印刷

一般企業への就職支援

企業への就職を希望する方に、就労に向けて必要な知識、能力の向上を図れるよう支援しています。評価、実践作業訓練、求職活動、マッチング、職場定着支援を行っています。

就労移行支援では、職業準備性を高めるための基礎訓練を行い、応用・実践訓練へとステップアップします。

また、グループワークや個別支援により、就労意欲の増進を図っています。

就労移行支援事業



◀就労準備
訓練



作業訓練▶
(焼き立てパン
AKE-BUONO)

就労を長く つづけるために

就効定着支援事業

就労の継続を図るために企業等との連絡調整や就労に伴い生じる課題解決に向けて必要な支援を行っています。



▲就効定着支援

職員 Voice



支援員
田村 沙智子

あけぼのの家の利用者様はいろいろな特長・個性をお持ちです。得意なことも不得意なこともあります。個性を尊重し、訓練を通じて日々の喜び・しんどさを共感し合い、利用者様が何を思っているのか、感じているのかを考えながらサポートしています。あけぼのの家に来て良い経験ができた、学んだことを活かせたと思っていただける事業所をめざしています。

その他の事業

自由時間の活動支援等を目的とした「土曜オープンday」の実施

自立生活訓練センター

多彩な訓練プログラムを提供し
あなたのめざす『社会復帰』を支援します!!

〒651-2181 神戸市西区曙町1070

(総合リハビリテーションセンター内)

TEL 078-927-2727(代) FAX 078-925-9229

E-mail: info_jiritsu@hwc.or.jp

<https://hwc.or.jp/jiritsu/>



アクセスは16ページをご覧下さい



障害者支援施設

施設入所支援 135名
自立訓練 (機能訓練108・生活訓練24) 132名
短期入所

機能・体力の向上、 自立した生活をめざして

自立訓練 (機能訓練)

車いす操作訓練、立位歩行訓練、坂道訓練などを通じて、体力や移動能力の向上を図るとともに、障害者手帳を利用した公共交通機関を利用する訓練を行っています。また、日常生活動作の自立に向けた練習や単身生活に向けた調理訓練など一人ひとりのニーズに合わせた訓練を実施しています。さらに、障害者スポーツ交流館を利用したマシントレーニングやさまざまなレクリエーションスポーツを行い、障害者スポーツへの参加も支援しています。



▲屋外での車いす操作訓練

自立訓練 (生活訓練)

病気や事故の後遺症として高次脳機能障害(注意障害・記憶障害・遂行機能障害・失語症等)を有する利用者に、集団プログラムを実施しています。また、家族との協働により効果的な対応方法を検討し、その成果を施設や地域での生活につなげていきます。



▲単身生活シミュレーション

社会復帰をめざし、 ニーズに合わせた自立訓練を支援

自立生活訓練センターは、「ともに頑張る仲間がいます。あなたなりの自立をめざして…」をモットーに、身体に障害のある方や高次脳機能障害のある方に対して、社会復帰をめざした自立訓練(社会リハビリテーション)を行っています。

利用者のニーズに応じた訓練メニューを選定し、訓練・評価・生活支援を通じ、身体能力・社会生活力などを向上させ、職場や学校、家庭など、地域社会へ復帰するために必要な機能の回復を図ります。

障害者自動車運転 相談センター

自動車運転評価・訓練



▲自動車の車いす
積み込み動作

障害のある方の自動車運転操作能力を評価する「試乗適性評価」、自動車運転の「習熟訓練」を行い、移動手段としての実用性を見極めます。脊髄損傷、左・右片麻痺など障害特性に合わせた改造車を使用でき、自家用車の選定や改造、免許更新時の手続き等に関するアドバイスも実施しています。また、近隣教習所と連携し、自動車運転免許の新規取得に向けて支援しています。

社会復帰に向けて

利用者個々へのアプローチ



▲住宅訪問による改修案の提案



▲復職に向けた通勤練習

復学、復職、就労、単身生活など、利用者個々の目標は異なります。それぞれの状況に合わせたプランを立て、よりスムーズな社会復帰につながるよう支援しています。

職員 Voice



理学療法士
相見 真吾

当施設では自立生活をめざす方への社会復帰を支援するために、利用者様それぞれの目標に合わせて、体育訓練や高次脳機能障害支援プログラム、自動車運転評価・習熟訓練等を実施しています。

また、在宅復帰や職場復帰を見据えた訪問を通して、具体的なニーズや課題が見つかり、施設での訓練にも取り入れています。

今後もさまざまなニーズに対応できるようチーム一丸となって支援していきます!

その他の事業

・介助犬・聴導犬の認定審査事業



おおぞらのいえ

おひさまより まぶしい
笑顔がいっぱい おおぞらのいえ

〒651-2181 神戸市西区曙町1070
(総合リハビリテーションセンター内)

TEL 078-927-2727(代) FAX 078-925-9253

E-mail oozora@hwc.or.jp
<http://www.hwc.or.jp/ozora/>

アクセスは16ページをご覧下さい



▲食事の練習



▲スポーツ大会参加



▲行事(すいか割り)



▲児童発達支援



障害のあるこどもたちを支援する施設

養護性の高い肢体不自由児を主として受け入れ保護とともに、温かい家庭的な雰囲気をもった生活の場を提供し、こどもたち一人ひとりの自立に向けた支援を提供しています。

障害児入所施設	20名
短期入所	4名
児童発達支援	10名
日中一時支援 (日帰り利用) <神戸市・明石市指定>	1～2名

医療（訓練）との連携

中央病院(小児整形外来)の処方に基づく訓練を受けています。

また、日常生活場面では、看護師や支援員が体力づくりや機能維持、心身の健やかな成長を促す支援に努めています。セラピストとのカンファレンスも実施しています。

地域で暮らす障害のあるこどもと家族への支援

●短期入所

身体等に障害のある児童を短期間預かり、入浴・排せつ・食事の介護等を行っています。

●日中一時支援(日帰り利用)

神戸市・明石市の指定を受け、日帰りのショートステイを提供しています。

●児童発達支援

身体等に障害のある、また発達の気になる就学前の児童を対象に、日常生活動作の習得および集団生活への適応に必要な支援を行っています。

教育との連携

おおぞらのいえの入所児童は、併設された兵庫県立のじぎく特別支援学校おおぞら分教室(幼稚部～中学部)、高等部からはスクールバスで本校に通学します。施設と学校で定期的にカンファレンスを実施し、個々の状況に応じた支援を行っています。

●職員 Voice



支援員
真治 綾花

おおぞらのいえは、主に肢体不自由がある子どもたちが生活しています。平日は、学校に通い、休日は外遊びや外出活動・季節の行事などを行っています。特に行事が行われる日は、子どもたちの張り切った姿が見られたり、笑顔と笑い声が響きます。私たち支援員は、保護者や学校の先生、専門職や公的機関の担当者等と連携を図りながら一人ひとりに寄り添った支援を心がけています。

障害者スポーツ交流館

する!みる!支える!
笑顔で仲間とスポーツを!!

〒651-2181 神戸市西区曙町1070
(総合リハビリテーションセンター内)

TEL 078-927-2727(代) FAX 078-927-8022
E-mail kouryukan@hwc.or.jp
<https://hwc.or.jp/kouryukan/>

アクセスは16ページをご覧下さい



すそ野の拡大

スポーツ大会、教室や体験会等を通じて、スポーツ人口の増加を図ります。



▲卓球交流会

選手の育成強化

各種大会や強化練習会を開催し、個人、団体の育成強化を図ります。



▲パラリンピック選手発掘事業
(シャッティングバレー・ボール)

社会貢献・情報収集と発信

関係機関と連携し、市民講座や地域交流事業を開催しています。



▲障害者スポーツフォーラム

介護予防と リハビリスポーツの推進

健康体操教室等を通じて、中高齢障害者の方々の健康維持増進を図ります。



▲健康体操教室

障害者スポーツ指導者、 ボランティアの養成

障害者スポーツを支える、人材育成を図ります。

兵庫県障害者スポーツ指導者講習会▶



施設の概要



▲ツリーカライミング

1階…駐車場(120台)

2階…アリーナ(バスケットボールコート2面分)
障害者スポーツに配慮した施設環境になっており、下記のようなスポーツの実施が可能となっています。

- ・バドミントンコート6面
- ・ボッチャコート8面
- ・シャッティングバレー・ボールコート4面
- ・フライングディスクアキュラシー10サイトなど
- ・ツリークライミング(国内初の設備を設置)

3階…トレーニング室

(筋トレマシン8機種、有酸素系マシン6機種等)
・フリーカラーミングボード

・アーチェリー設備(30m・4的)

・観戦スペース(200m²)

●開館時間 9:00~21:00

●休館日 毎週月曜日(祝日の場合は翌日)、12/29~1/3

※施設のメンテナンス等により臨時休館日を設ける場合があります。

職員 Voice



体育指導員
坂本 春菜

いよいよ、世界3大スポーツのビッグイベント、オリンピック・パラリンピックの年、興奮と感動を肌で感じてみませんか?皆様のご来館、お待ちしております。

のぞみの家

夢と潤いのある生活をめざして

〒651-2181 神戸市西区曙町1070

(総合リハビリテーションセンター内)

TEL 078-927-2727代 FAX 078-925-9275

E-mail info_nozomi@hwc.or.jp

http://www.hwc.or.jp/nozomi/



アクセスは16ページをご覧下さい

救護施設 入所 100名
保護施設通所 9名



自立をめざす施設

生活保護法第38条で規定された救護施設で、さまざまな障害を持ち地域においてひとりで生活することが困難なため保護を必要とされる方々を受け入れ、日常生活の自立に向けて援助・介護などのサービスを提供しています。

また、社会のニーズに応えられる救護施設であるために、地域のセーフティネットの一翼として精神病床からの退院者、矯正施設等からの退所者、ホームレス等の社会的支援を必要とする方々を受け入れ、地域生活への移行支援の充実と自立に向けた支援を積極的に実施しています。

総合リハビリ
テーションセンター

地域での居宅生活をめざして

居宅生活訓練事業

サービスの提供により生活力が向上された利用者が地域での生活へと移行を進めるため、福祉事務所等と連携し近隣のアパート等を借り上げ、居宅生活に必要な訓練を実施し在宅生活につなげていきます。



◀調理実習

社会生活力向上のために

社会生活力プログラム

のぞみの家では、毎週木曜日に、利用者の社会生活力向上のため、「社会生活力プログラム」を実施しています。健康、金銭管理、コミュニケーション等テーマを決めて、グループワークを中心に取り組んでいます。テーマに応じて、自分の意見を整理しながら発表したり、人の意見を聞いたりすることで、自分自身の生活を振り返り、社会で生活する力を付けていくことを目標にしています。



▲グループワークの様子



▲アイロンあて

●職員 Voice



支援員
三木 明子

のぞみの家では社会生活力プログラムや居宅生活訓練事業といった地域移行や自立に向けた取組に力を入れています。また、脳トレ・生け花・カラオケなどのクラブ活動、毎月1回の茶話会、セラピードッグや音楽療法などといった日中活動をおこなっており、利用者様にとって楽しみの機会となっています。今後もさまざまな活動を通して、利用者様の自己実現や潤いある生活をめざしていきます。

潤いのある生活のために

日中活動の充実

日中の時間を利用して、緩衝材の袋詰めや中央病院の屋外リハ訓練場の清掃等を作業として行っています。

また、多くのボランティアに生花クラブ・音楽クラブ・セラピードッグ・茶話会のお手伝い等で協力をしていただいています。

そして、当センターの専門職の協力を得て理学療法士や作業療法士によるリハビリテーションの指導を受けたり、体育指導員によりスポーツレクリエーションを実施しています。



▲カラオケクラブ

地域ケア・リハビリテーション支援センター



事業所・窓口 兵庫県地域リハビリテーション支援センター
高次脳機能障害相談窓口
障害者地域生活支援センター
訪問看護ステーション
在宅ケアステーション

〒651-2181 神戸市西区曙町1070
(総合リハビリテーションセンター内)
TEL 078-927-2727 (代) FAX 078-925-9299
E-mail consult_reha@hwc.or.jp
<http://www.hwc.or.jp/rihacenter/sougousoudan.html>

アクセスは16ページをご覧下さい



住み慣れた地域で
いきいきとした生活が
できるよう全力で
サポートします

地域生活における相談及び 支援を行う総合窓口

地域ケア・リハビリテーション支援センターでは、高齢者や障害者が地域の中で安心して暮らし続けられるよう、看護師、リハビリスタッフ、介護支援専門員、訪問介護員など多職種が有機的に連携し、トータルな医療・福祉サービスを提供しています。

障害者の地域生活を全力で支援!

たまつあけぼの障害者地域生活支援センター

神戸市西区にお住まいの障害児や障害者とそのご家族等との電話、来所、訪問等による相談を行っています。また、西区自立支援協議会の事務局でもあり皆様がその人らしい生活がおくれるよう地域の仕組みづくりを行っています。



▲電話相談も受けています

一人ひとりの心の想いに真摯に向き合う!

総合リハ高次脳機能障害相談窓口

脳外傷や脳疾患などが原因として起こる高次脳機能障害を持つ方を対象に、医療・福祉サービス、社会保障制度、就労就学に関する相談を行っています。ご本人の状況の把握・社会資源等の説明、必要な関係相談機関との連携を行っています。



▲相談窓口のパンフレット

自宅での自立生活をサポート!

総合リハ在宅ケアステーション

私たち訪問介護員は、利用者が住み慣れた地域で、安心して自分らしい生活が継続できるようにサポートしています。当センターの特性を活かし、他職種との連携を持ちながら高齢者や障害者に対してさまざまな角度から質の高いサービスを提供することを目標に支援しています。



▲利用者様と一緒に買い物支援

県下の地域リハビリテーションを推進します!

兵庫県地域リハビリテーション支援センター

全県支援センターとして県下に9箇所ある圏域支援センターとともに地域リハビリテーションの推進体制づくりと、市町や介護サービス事業所への専門職員派遣等により地域包括ケアシステムの推進を図る取組をしています。



▲地域での介護予防の取組

暮らしの「安心」サポーター!

総合リハ訪問看護ステーション

自宅等で療養生活をしている方を対象に、看護師や理学療法士、作業療法士等が訪問し、ご本人やご家族に対して生活の質を高めるためのサービス提供を行っています。また、ステーションでは利用者の暮らしの安心をサポートするために、各職種が常に連携して、ケース検討会議を重ねています。



▲訪問に出かけます

●職員 Voice



支援員
田邊 杏奈

地域ケア・リハビリテーション支援センターでは、住み慣れた地域の中で誰もが安心して暮らし続けられるよう、利用者様やご家族に対して、看護師やリハビリスタッフ、訪問介護員、相談支援専門員など多職種が密に連携し、総合的にサポートしています。

今後も“安心生活の良きパートナー”として、チームケアによるサービスを提供していきます。

西播磨 総合リハビリテーションセンター

豊かな緑と自然に包まれて
地域とともに歩み、
成長する総合リハビリテーション

〒679-5165 たつの市新宮町光都1丁目7-1

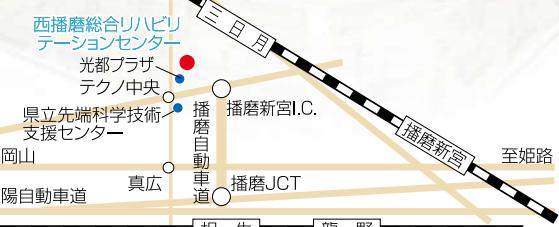
TEL 0791-58-1050(代) FAX 0791-58-1070

E-mail info_nishiharima@hwc.or.jp
<http://www.hwc.or.jp/nishiharima/>

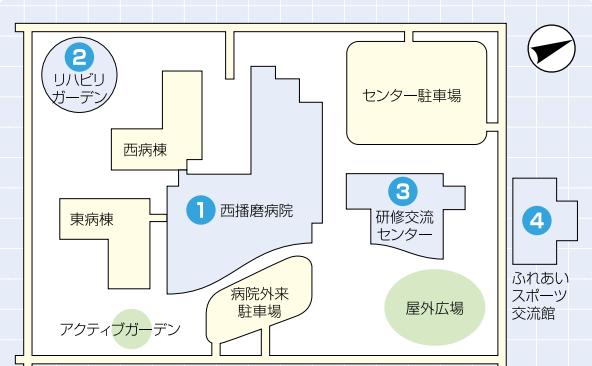


障害者・高齢者の自立と 社会参加の支援を

兵庫県西部の豊かな自然に囲まれ、人と自然が調和する播磨科学公園都市に、西播磨病院、研修交流センター、ふれあいスポーツ交流館(体育施設)の3施設を設置し、障害者や高齢者の自立と社会参加の支援のためのリハビリテーションサービスを提供しています。西播磨病院では、従来のリハビリ療法に加え、音楽療法や園芸療法の多様なリハビリテーション療法を提供、研修交流センターでは、障害者や健常者の共生の場の提供と地域の福祉ニーズに応えるために、研修や地域との交流等を実施、また、ふれあいスポーツ交流館では、障害者スポーツ等の普及に取り組んでいます。



JR相生駅から車で20分、バスで30分
JR播磨新宮駅からバスで26分
播磨新宮I.C.から車で6分



施設案内図



西播磨病院

チーム医療をモットーに質の高い
リハビリテーションをめざします

〒679-5165 たつの市新宮町光都1丁目7-1
(西播磨総合リハビリテーションセンター内)

TEL 0791-58-1050(代) FAX 0791-58-1071
<http://www.hwc.or.jp/nishiharima/hospital/>

アクセスは28ページをご覧下さい

病床数 一般病床 100床

回復期リハビリテーション病床 50床
障害者施設等一般病棟 50床

診療科目

内科・脳神経内科・循環器内科・整形外科・もの忘れ外来
リウマチ科・泌尿器科・リハビリテーション科
眼科・歯科

患者さま本位のサービス提供

早期の在宅復帰をめざした集中的・効果的なリハビリを提供するため、休日においても個別訓練を実施するとともに、退院後も安心してリハビリが受けられる介護保険による通所リハビリテーションを実施しています。

運営理念および基本方針

運営理念

地域とともに歩み成長するリハビリテーション専門病院をめざします。

運営基本方針

- 先進的で個別的なリハビリテーションサービスを提供します。
- 早期に家庭へ復帰し、地域でその人らしい生活ができるようめざします。
- 情報を共有し、安全・安心で患者と家族本位のチーム医療サービスを提供します。
- 人間性豊かで専門技術に優れたリハビリテーション人材の育成に努めます。

リハビリテーション西播磨病院は
日本医療機能評価機構認定病院です

本体審査

病院機能評価3rdG:Ver.1.1

付加機能審査

リハビリテーション機能(回復期) Ver3.0



先進的・特徴的な取組

SPECT-CT検査



体内に注入したRI(放射性同位元素)の分布状況を断層画面で見る検査のことです。

従来のCTでは表わせなかった血流量や代謝機能の情報が得られるため、とくに脳血管障害や心疾患の診断で威力を発揮します。

反復経頭蓋磁気刺激治療



反復経頭蓋磁気刺激治療と集中訓練により機能回復をめざす、先進的な取組を行っています。

基準嗅覚検査



5種類のにおいを嗅いで、においを感じができるか、識別することができるかを調べます。

失語症外来

一定期間が過ぎても、医師が必要と認めた方にに対して、専門訓練やフォローを行っています。



職員 Voice



薬剤師
堀渕 倫未

当院は西播磨圏域を中心に脳卒中、神経難病、運動器疾患、脊髄損傷などの疾患に対して専門性の高いリハビリ医療サービスを提供しています。専門スタッフによるサポートのもと、近隣の医療・福祉・行政機関と連携し、患者様・ご家族の生活を多面的に支援しています。薬剤部では医薬品管理供給部門として各部署と連携のもと、的確で安全な薬物療法の推進に努めています。

Honda歩行アシスト歩行練習

効率的な運動を高頻度に繰り返すことで、歩行能力の向上を図っています。



地域での生活を支える医療サービス

● 短時間通所リハビリ (対象:介護保険の認定者)



訪問調査により、生活状況を踏まえたうえで、必要なりハビリを行います。

● 認知症疾患医療センター



認知症の予防から相談、診断、リハビリ、訪問まで専門スタッフによるサポートを行っています。

● 神経難病リハビリテーションセンター

神経難病リハビリテーションに関する「治療・研究」を中心に、「研修・養成」、「情報提供」及び「相談」を一体的にサービス提供いたします。



● 総合相談・地域連携室

生活上の不安や心配ごとに対して相談に応じ、より良い解決方法が見つかるようにお手伝いいたします。

個別的なリハビリテーション

当院では、理学療法、作業療法、言語聴覚療法によるリハビリテーションを回復期病棟を中心に365日体制で実施しています。このほか、音楽療法、園芸療法や認知リハビリテーションなど多様な取組を進めています。



▲歩行練習



▲上肢の機能訓練



▲電動車いす練習



▲更衣練習



▲自動車運転評価



▲摂食・嚥下訓練



▲高次脳機能検査



▲集団での楽器演奏



▲野菜・花の育苗

多様なニーズへの対応

病棟生活がリハビリの場として意欲を高められるように働きかけ、個別性を重視した適切な援助を展開しています。認定看護師による看護師相談をしています。



▲リエゾン回診



▲パーキンソン患者の集団訓練



▲看護相談



▲嚥下体操

県民公開講座

地域住民に、難病等疾病の正しい理解と、リハビリテーション西播磨病院の取組を知ってもらえるよう、公開講座を開催しています。



研修交流センター

実践に役立つ研修を受けるなら
なんといっても西播磨総合リハが一番

〒679-5165 たつの市新宮町光都1丁目7-1

(西播磨総合リハビリテーションセンター内)



TEL 0791-58-1050(代) FAX 0791-58-1070

Email hrn_complaza@hwc.or.jp

http://www.hwc.or.jp/nishiharima/seminar_exchange/

アクセスは28ページをご覧下さい



情報発信と地域支援の推進

リハビリテーションに関する広範な領域の研修会を実施し、リハビリ関係職員の知識や技術の向上に努めるほか、福祉用具展示ホールでの用具に関する相談への対応、地域の拠点として西播磨病院の入院患者や地域住民を対象とした各種の交流事業の実施、また、専門人材の派遣による障害者・高齢者の地域支援を行っています。

生活を支援する用具の展示

約360m²の広さをもつ福祉用具展示ホールでは、車いす・ベッド・杖・靴などのさまざまな福祉用具約700点を展示しています。在宅でのより良い生活を支援するために、最新情報の提供や適切な福祉用具の選定ができるようセラピストなど専門職と連携し、相談業務を行っています。

また、団体見学や福祉体験学習を通して、福祉用具の普及啓発を図っています。



▲福祉用具展示ホール

充実した研修を通じて福祉や医療現場の人材育成を目指す

リハニーズに対応した『脳血管障害』『パーキンソン病』『高次脳機能障害』『園芸療法』『音楽療法』などの研修及び、介護意識・技術の向上として『ポジショニング』『排泄ケア』『介護技術』などの研修を年間約20講座開催しています。また、新たに『喀痰吸引等研修』の実施にも取り組んでいます。



▲園芸療法実践講座



▲喀痰吸引等研修

施設の概要

福祉用具展示ホール・交流ホール・研修室・サークル室(陶芸・音楽)・交流サロン・屋外広場・レストラン・売店

【福祉用具展示ホール】

開館時間 9:00~17:30

休館日 祝日・12/29~1/3

地域住民と交流する

西播磨病院の入院患者と地域の障害者・高齢者をはじめとした住民が、芸術活動の発表の場として、また交流を目的に「ふれあいリハフェスタin西播磨」「ロビーコンサート」「クリスマス会」「病院ギャラリーの展示」「陶芸・絵手紙教室」などを実施しています。地域交流事業を通して、多くの方に当センターの存在を知っていただき、サポーターとして支えられています。



▲クリスマス会

●職員 Voice



開発指導員
木村 清子

令和元年度から、適切にたんの吸引等ができる介護職員等を養成する「喀痰吸引等研修」の実施に取り組んでいます。また、他研修でも介護職員等の専門的な知識や技術の習得と実践的な支援が行えるよう人材育成を目的にした研修を行っています。

木のぬくもりと緑に包まれた当研修交流センターで、さらなるスキルアップをめざし、明日からの支援の糸口を見つけませんか。



▲ふれあいリハフェスタ



◀病院ギャラリー展示

ふれあいスポーツ交流館

スポーツを通じた
「共生社会」の実現をめざして

〒679-5165 たつの市新宮町光都1丁目7-1
(西播磨総合リハビリテーションセンター内)



TEL 0791-58-1313 FAX 0791-58-1323
http://www.hwc.or.jp/nishiharima/sports_exchange/

アクセスは28ページをご覧下さい



「共に生きる」喜びと心の 豊かさを分かち合う交流の場

健康と体力づくりからアスリートの強化までを担う障害者スポーツ施設として、県下の障害者・高齢者等に対するスポーツの普及・振興や健康の維持増進、社会参加の促進に寄与しています。また、障害者スポーツ及びリハビリテーションにかかる専門的な知識と技術を提供するとともに、すべての人々が「共に生きる」喜びと心の豊かさを分かち合うことができる交流の場を提供しています。

西播磨総合リハビリ
テーションセンター

障害者・高齢者を対象とした スポーツ教室等の開催

スポーツ愛好者の增加と競技力の向上を図ります。



障害児親子水泳教室▶

障害者スポーツ大会の開催

競技スポーツの振興を図ります。



▲西日本交流車椅子バスケットボール大会

スポーツを通した地域住民・ 児童生徒等との交流事業の実施

地域の障害者スポーツの啓蒙活動に寄与します。



小学生サマースクールでの
スポーツ用車椅子体験▶

予防リハビリテーションの普及

高齢者等の健康づくりに効果が高い予防リハの普及を図ります。



障害者スポーツの指導者・ボランティアの養成

障害者スポーツの振興を支える人的体制の充実・強化を図ります。



STT指導者・審判講習会▶

施設の概要

- ①アリーナ…バスケットボールコート2面分
- ②温水プール…25m×6コース、ジャグジー、採暖室
- ③トレーニング室
 - …筋トレマシン6機種、有酸素系マシン7機種等
- ④芝生広場…グラウンドゴルフコース3面分
- ⑤家族更衣室あり

●職員 Voice



体育指導員
多門 俊通

ふれあいスポーツ交流館では、高齢者や障害者、地域住民の方々などさまざまな人たちがスポーツを通して交流し、運動教室や大会を通して、健康の維持推進・競技力の向上などをめざしています。特に今年は東京パラリンピックが開催されます。パラリンピック競技に関する体験や教室なども行っていますので、ぜひ自然豊かな当施設へお越しください。

●開館時間 9:00~21:00
(温水プールについては9:30~20:45)

●休館日 毎週火曜日
(祝日の場合はその翌日)、12/29~1/3

●利用申し込み

※利用を希望される方は、電話等で
お問い合わせください。
(休館日以外、日曜・祝日も受け付けています。)

小野起生園

自立生活の創造
介護から地域生活までの総合的
支援を展開する障害者支援施設

〒675-1355 小野市新部町1丁通1320

TEL 0794-66-4570 FAX 0794-66-6156(総務課)

TEL 0794-66-6121 FAX 0794-66-6158(支援課)

E-mail info_ono@hwc.or.jp
<http://www.hwc.or.jp/kiseien/>



アクセスは34ページをご覧下さい

その人らしい生活をめざして

小野起生園では、その人の「暮らす」と「働く」をテーマに、ライフステージに合わせた自立に向けた支援を行っています。また、施設だけのサービスにとどまらず、行政・医療機関・地域コミュニティ等との「地域連携」により、一人ひとりのニーズに合った支援をめざしています。



暮らす ~安心・潤い~

施設入所・短期入所

好きな物を買いたい、行ってみたいところがある、一人暮らししたい等、その人の自己実現を支援しています。また、季節行事を開催し、施設での生活が豊かなものになるよう支援しています。地域の方の必要に応じて短期入所の受入も行っています。



▲希望外出(浜坂温泉保養荘)

季節行事 (納涼の夕べ)



◀季節行事
(年忘れ会)

働く・楽しむ ~いきがい・やりがい~

生活介護

利用者のニーズに合わせて第一生活介護と第二生活介護に分かれています。第一生活介護は入浴やレクリエーション等生活支援を中心に、第二生活介護は作業活動、クラブ活動を中心楽しめや働く意欲を支援しています。



▲第一生活介護(外出支援)



▲第二生活介護(スポーツクラブ)



▲第二生活介護(作業)

地域生活 ~グループホーム~

共同生活援助

近隣にはスーパー、飲食店、医療機関があり、とても便利なところに位置しています。世話人や生活支援員が食事の提供や相談などの援助を行い、地域生活を支援しています。



◀グループホーム外観
「サンリット小野」「サンリット起生」



▲城崎方面旅行

職員 Voice



支援員
田代 聖子

小野起生園では、利用者の皆様は、平日は個々の能力に応じた作業を分担で行い、休日は個人の時間を大切にして過ごされています。

心優しい方、いつも周囲を笑わせてくださる方、さまざまなことを教えてくださる方など、個性豊かな利用者の皆様に、こちらがいつも笑わせていたいと思っています。
今後も利用者様一人ひとりが、自分らしい生活を送れるよう、職員一丸となって頑張っていきたいと思います。

相談支援

利用者やご家族から、これから的生活に対する思いをうかがい、適切な障害福祉サービスの利用・生活等に関する情報提供・各種手続きの代行・ご相談・アドバイス等の支援をしています。



小野福祉工場

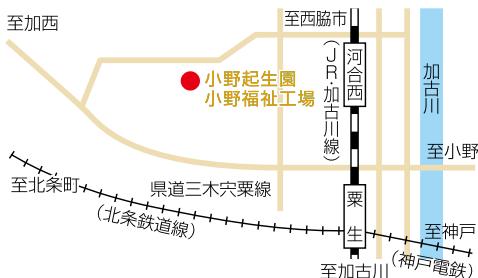
あなたの「働きたい」を応援します

〒675-1355 小野市新部町1丁通1320

TEL 0794-66-6561 FAX 0794-66-6562

E-mail info_ono@hwc.or.jp

<http://www.hwc.or.jp/koujyo/>



山陽自動車道「三木小野」I.C.から車で20分
JR加古川線「河合西」駅から徒歩20分

生産活動等に参画できるような工場運営への取組み

労働法規の適用を受け、障害者に「仕事」と「職場」を提供しています。仕事量の確保が障害者雇用に直結するため、受託企業が求める品質と生産性の向上をめざし取り組んでいます。



▲自動車部品組立作業

個々の能力に応じた個別作業支援

一般企業で就労が困難な方に対して、企業からの受託作業、家電製品のリサイクル作業等を中心働く場を提供するとともに、知識及び能力向上のために必要な訓練を行っています。



▲リサイクル作業

職員 Voice



技術指導員
山口 哲史

小野福祉工場はJR加古川線の河合西駅から徒歩20分。小高い丘の上に位置しています。障害のある方の働く場として、機械部品の組立やリサイクル関係の仕事を中心に行ってています。利用される方の障害特性に合わせた幅広いニーズに対応できるよう作業内容と環境を整えております。

多機能型事業所

就労継続支援A型	30名
就労継続支援B型	30名

障害者の就労の場として

小野福祉工場は、身体・精神・知的に障害をお持ちの方に「仕事」と「職場」を提供し、社会的、経済的に自立した生活を営むことができるよう支援しています。



地域に開かれた施設運営

利用者のニーズに適切に応え、就労の場を提供するため、市町をはじめ、ハローワーク・障害者地域生活相談支援センター・特別支援学校等、関係機関との連携のもと事業運営を行っています。



▲施設見学風景



▲地域利用者の送迎

出石精和園

コウノトリとともに未来へはばたく出石精和園

〒668-0261 豊岡市出石町荒木1300
TEL 0796-52-4811 FAX 0796-52-4856

児童寮

〒668-0204 豊岡市出石町宮内1031
TEL 0796-52-3438 FAX 0796-52-3439

障害児入所施設（施設入所支援・生活介護）……30名
短期入所……………2名

成人寮

〒668-0261 豊岡市出石町荒木1300
TEL 0796-52-4811 FAX 0796-52-4856

障害者支援施設
施設入所支援……………100名
生活介護……………100名
短期入所……………4名

児童施設
障害児者施設

第2成人寮

〒668-0204 豊岡市出石町宮内1031
TEL 0796-52-3438 FAX 0796-52-3439

障害者支援施設
施設入所支援……………40名
生活介護……………40名
短期入所……………4名

出石精和園地域支援センター

〒668-0221 豊岡市出石町町分212
TEL 0796-52-5288 FAX 0796-52-5322

多機能型事業所Rakuraku

〒668-0221 豊岡市出石町町分21-3
多機能型事業所
就労継続支援B型……………40名
生活介護……………20名

楽々庵出石店(うどん屋) /らくらくベーカリー(パンの王様)

TEL 0796-52-4106

ラクラク工房(作業所)

TEL 0796-20-1117 FAX 0796-52-4107

楽々庵(豊岡店)

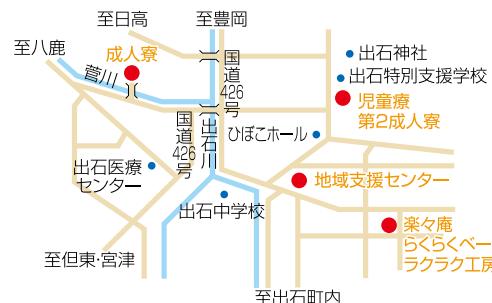
〒668-0033 豊岡市中央町2-4(豊岡市役所新庁舎2F)
TEL 0796-24-3188 FAX 0796-24-3188

E-mail info_izushi@hwc.or.jp
<http://www.hwc.or.jp/seiwaen>

地域から愛され、信頼される 施設づくりを推進

但馬の小京都とも呼ばれ、城下町として400年を超える歴史を持つ豊岡市出石町に、山の緑と田園風景に囲まれ穏やかな環境の中に各施設が点在します。

そこで、障害を有する幼児から高齢者まで、地域で生活されサービスを必要とする方の良き相談窓口となり、利用者一人ひとりが地域生活をスムーズに行えるよう、関係機関と連携して各種の事業サービスを提供します。



出石精和園
マスコット
キャラクター
「ハートちゃん」

職員 Voice



支援員
中村 貴幸

働き方改革が推し進められている社会情勢の中、出石精和園では昨年4月から「らくらくキッチン」(就労継続支援B型事業)をスタートしました。この中で活躍されている利用者様の中から、一人でも多く雇用につながるよう今後ともワンチームで取り組んでいきたいと思います。また、今年度は成人寮がリニューアルされます。新しい出石精和園にご期待ください!!

のびのび育む自立の心

児童寮

自立、日常生活能力の向上に向け、外出や地域行事への参加を通じ、社会生活力を養う支援を行っています。また、文化活動にも力を入れ、音楽療法やボランティアによる茶道体験など、余暇の充実も図っています。



▲音楽療法



▼よさこい



▲茶道

笑顔あふれる その人らしい生活

成人寮

住み慣れた地域で「その人らしい生活」を叶えるために、2020年春新しく整備した快適な空間で個別のニーズに応じた日常の介護やリハビリ、生活に潤いが持てる余暇活動（外出・クラブ活動・創作活動等）を楽しみながら「笑顔あふれる」毎日を送っていただけるよう、利用者の気持ちに寄り添い、思いを叶えていきます。



▲外出



▲華道

ゆっくりゆったり思い出づくり

第2成人寮

おおむね45歳以上の方が生活されています。健康で楽しく日々を過ごせるよう口腔ケアを実施するとともに、足浴・マッサージを行い、血行促進やリラクゼーションを図っています。また、レクリエーション化した機能訓練、音楽、創作、華道・茶道、陶芸等の活動を提供しています。さらに、故郷訪問や四季折々に外出し、思い出づくりを担っています。



▲たなばた



▲節分

自分らしく生きるために

多機能型事業所 RakuRaku

当事業所では、地域の中で障害者の方の「働く」、「暮らす」を支援するため就労継続支援B型事業、生活介護事業を展開しています。

平成25年から豊岡市役所本庁舎において「楽々庵」豊岡店の食堂営業を行っています。地域の皆様から愛されている焼きたてパンの「らくらくベーカリー」、うどん・日替わりランチが人気の「楽々庵」出石店に加えて平成31年4月からニューワンルーム方式による施設給食の提供を児童寮、第2成人寮で開始しています。また、生活介護事業を平成29年4月に開始し、生産活動や創作活動を中心に活動的な生活介護事業をめざし運営を行っています。



▲生活介護の様子



▲らくらくキッチンの作業風景



▲らくらくベーカリーでの作業風景



▲楽々庵での作業風景



▲楽々庵「豊岡店」



▲地域イベント出店の様子

生まれ育った街で暮らし続けるために

出石精和園地域支援センター

障害をもつ人が、その人らしく、安全・安心に、地域で暮らし続けるためには、多種多様な社会資源を的確に調整する必要があります。当センターでは計画相談支援はもとより、市町から受託する基本相談支援や兵庫県から受託する障害者等相談支援コーディネート事業も含め、専門性の高いケアマネジメントを実践します。また、地域における「すまい・暮らし」の拠点となるグループホームも積極的に整備し、サービス提供を実践しています。

その他の事業

- ・障害者等相談支援コーディネート事業
- ・日中一時支援事業
- ・相談支援事業
- ・共同生活援助事業（グループホーム）
「こぶし荘」「いずし野」「クレパス」「あじさい」「和（なごみ）」「ドリームハイツイズシ」
- ・児童発達支援事業・放課後等デイサービス

五色精光園

365日24時間、
看護師配置の安全・安心な施設

成人寮

〒656-1332 洲本市五色町広石北847
TEL 0799-35-0231 FAX 0799-35-0844
E-mail seikouen@athena.ocn.ne.jp

施設入所支援	80名
生活介護	100名
短期入所	7名

第2成人寮

〒656-1337 洲本市五色町下堺1062-3
TEL 0799-35-0326 FAX 0799-35-0725
E-mail goshikidainisejin@ocn.ne.jp

施設入所支援	30名
生活介護	40名
短期入所	空床利用

かがやき事業所

〒656-1331 洲本市五色町都志大日707
TEL 0799-33-1192 FAX 0799-33-1191
E-mail goshiki_chiiki@hwc.or.jp

多機能型事業所	自立訓練（生活訓練）	20名
	就労移行支援（令和2年度休止）	

あゆみの部屋事業所

〒656-1317 洲本市五色町鮎原小山田510-7
TEL 0799-32-0400 FAX 0799-32-0410
E-mail ayuminoheya@canvas.ocn.ne.jp

多機能型事業所	生活介護	20名
	就労継続支援B型	10名

コスモス事業所

〒656-0042 洲本市池内1248-6
TEL 0799-23-1421 FAX 0799-23-1422
E-mail cosmos-sumoto@solid.ocn.ne.jp

多機能型事業所	生活介護	20名
	就労継続支援B型	10名

職員 Voice



支援員
森下 瑛治

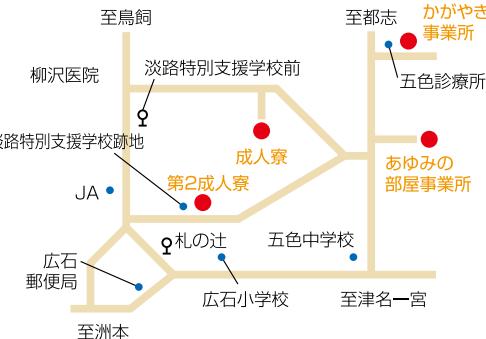
五色精光園では、個別支援計画に基づき利用者様一人ひとりが健康でいきいきとした生活を送れるよう支援しています。私は、五色精光園に着任し1年が経ちました。大変なことが多いですが、利用者の皆様が日々を充実させてその人らしい生き方をできるよう支援していくことをやりがいとして働いています。今後も、職員一丸となって質の高い支援を心がけていきたいと思っています。

ありがとうの笑顔 地域とスクラム みんなの未来へ

五色精光園は、「花と緑と玉葱の島」淡路島のほぼ中央部洲本市に位置しています。365日24時間看護師配置の障害者支援施設をはじめ、ブループホーム、相談支援事業、障害者就業・生活支援センター、多機能型事業所等を運営しています。

五色精光園成人寮は平成24年3月の改築整備において全室個室、全館ユニバーサル仕様となり、障害特性に応じたユニット支援を取り組んでいます。特に、県下初となる高齢・重度者ユニットでは「高齢及び医療的ケアも要する重度知的障害を有する利用者」に『ゆったりのんびり心豊かに、その人のペースで充実した生活を過ごしてもらいたい』を合言葉に、一人ひとりの安全・安心を担保したその人らしい生活を支援しています。

成人寮・第2成人寮・かがやき事業所・あゆみの部屋事業所



成人寮：路線・高速バス「五色バスセンター」

下車 車 10分

第2成人寮：淡路交通バス「淡路特別支援学校前」

下車 徒歩 10分

コスモス事業所

洲本 I.C.

しまむら

大野郵便局

コンビニ

洲本GC

コスモス事業所

神戸淡路鳴門自動車道洲本 I.C.から6km

<http://www.hwc.or.jp/seikouen/>



▲地域貢献活動

健康で楽しくいきいきとした生活づくり

成人寮

利用者一人ひとりの個性と想いを大切にした個別支援計画に基づき、線香箱折り等の委託作業、理学療法士、健康体操インストラクター、音楽療法士、指ヨガ、和太鼓、舞踊等の外部講師と連携した、健康で楽しくいきいきとした生活づくりに向けた支援を進めています。



▲成人寮 玄関



▲指ヨガ



▲淡路精神保健福祉大会での和太鼓「響」



▲ブラッシング指導

あふれる笑顔、あふれる笑い声

第2成人寮

利用者のさまざまなニーズに対応できるよう、以下5つの柱である活動内容を通して充実した支援を提供し、その人らしい生き方ができるよう支援します。(1)音楽・運動プログラム(2)学習プログラム(3)創作プログラム(4)生活プログラム(5)園芸プログラム。

福祉の心と高い専門性をもって、利用者の健康の増進に努め、日々安心・安全な生活環境を提供するよう努めています。



▲第2成人寮



▲生活介護作業



▲音楽療法活動



▲工芸活動

地域の中でその人らしさを はぐくみ支え合う

かがやき事業所

グループホーム、自立訓練、就労支援関係事業（障害者就業・生活支援センター、障害者専門職業紹介、ジョブコーチ支援）、相談支援の事業を実施しています。各事業が連携し、障害を有する方が地域の中で自分らしく暮らせるよう支援します。



▲かがやき事業所



▲社会体験実習(切符購入)



▲自立訓練(個別プログラム実習)



▲チーズ作り体験

くらす・はたらく、地域の日中活動拠点

あゆみの部屋事業所・コスモス事業所

両事業所とも多機能型事業所（生活介護・就労継続支援B型）として運営しています。心身機能の維持・増進、創作活動の支援のほか、淡路特産のたまねぎ等農作物や健康志向のパン、クッキーづくり・販売や、老人ホーム等の清掃委託作業を通して、やりがいと働く喜びを感じられるよう、また、地域とのつながりを大切にした支援を進めています。



▲あゆみの部屋事業所



▲コスモス事業所

▲あゆみの部屋事業所
天然酵母のパン▲コスモス事業所
クッキー製造

その他の事業

(くにうみの里 内)

- ・障害者就業・生活支援センター事業
- ・相談支援
- ・障害者専門職業紹介事業

- ・日中一時支援
- ・共同生活援助事業（グループホーム）
「あおぞら」「スイートピーⅠ・Ⅱ」「マーガレットⅠ・Ⅱ・Ⅲ」「かがやき」

赤穂精華園

桜と太鼓で地域と共生する赤穂精華園



〒678-0252 赤穂市大津1327

TEL 0791-43-2091 FAX 0791-43-7404

E-mail info_ako@hwc.or.jp

<http://www.hwc.or.jp/seikaen/>



忠臣蔵のふるさとにある施設

赤穂精華園は瀬戸内の温暖な気候と自然に恵まれ、忠臣蔵のふるさととして知られる赤穂市にあります。「地域に愛され親しまれる施設」をモットーに、赤穂精華園祭、赤穂精華園セミナーを開催しています。一人でも多くの地域住民に知ってもらい、地域とともに歩んでいく施設をめざします。

児童寮

障害児入所施設	36名
(施設入所支援・生活介護)	
障害児通所支援	10名
短期入所	1名

成人寮

障害者支援施設	
施設入所支援	
第一施設入所支援	120名
第二施設入所支援	64名
生活介護	
第一生活介護	155名
第二生活介護	64名
短期入所	4名

やまびこ寮

障害者支援施設	
施設入所支援	40名
就労継続支援B型	40名
短期入所	2名

honoka

〒678-0239 赤穂市加里屋290-10
TEL 0791-56-9660 FAX 0791-56-9661



子どもたちのよりよい育ちをめざして

児童寮 (児童支援課・放課後等デイサービス)

児童寮は、小規模グループケア（定員8名×2ユニット）を取り入れ、家庭的な環境で健やかに成長し、その人らしく育ち、暮らしていくための支援を行っています。また、医療機関や学校等と連携を図り、多角的な視点をもって子どもの支援にあたっています。子ども達は園の他にさまざまな活動場所をもち、和太鼓やヒップホップダンスを地域のイベントで披露しています。休日にはスポーツ大会や買い物に、近くの神社や公園、グラウンドなどで遊びます。自活訓練室を活用して、地域生活に向けた支援も行っています。



▲和太鼓



▲創作活動

職員 Voice



支援員
横原 達也

私が勤務している児童支援課ではさまざまな行事や日課が行われます。

普段の生活ではあまり活動的でない利用者様も、行事ではとても活動的です。季節ごとのイベントや、毎月のこどもクッキングでは、普段以上に利用者様の笑顔が増え、とても楽しんでいることが伝わってきて、私のやりがいにつながっています。

利用者様の日々が充実し、安心できる質の高い生活を送れる支援をめざして、これからも日々努力を重ねていきます。

一人ひとりの笑顔を大切に

成人寮（成人支援第一課）

楽しく潤いのある生活をめざす生活介護と施設入所支援事業を行っています。「その人らしい生活」を考えながら、利用者の思いや個性に配慮した支援を行っています。

季節の行事に加え、個々の利用者の趣味趣向に応じて、陶芸教室や音楽療法、ヨガ教室などさまざまな活動に取り組み、生活の充実をめざしています。また、日帰り旅行などの施設外活動や、地域のイベントへの参加を通じて地域との関わりを持ちながら、利用者一人ひとりの笑顔を大切に支援しています。



◀誕生会

農耕作業▶
ジャガイモ掘り

みんな元気で楽しく過ごそう！

～一人ひとりに合わせた健康維持と楽しみづくりのお手伝い～

成人寮（成人支援第二課）

成人支援第二課（重度棟）では、高齢化に伴い、利用者の体力維持を図ることを目的に、理学療法士等の専門職に相談しながら、個々に応じた補装具等の提供やリハビリ実施計画書に基づいたリハビリを実施しています。また、健康な歯で美味しい食事を目標に、歯科衛生士のブラッシング指導を受けながら、口腔ケアを行っています。穏やかに日々の生活を送っていただくように、利用者個々の特性に配慮した支援、QOL（生活の質）の向上、楽しみの機会を持つような支援を心がけながら、日々取り組んでいます。



◀PT指導

中庭での▶
くつろぎのひととき

働く楽しさ・喜び・やりがいづくりを応援します

令和2年4月から、有年事業所の就労支援事業と統合し、やまびこ寮就労継続支援B型（定員40名）として支援を開始しました。

これまで同様、播州赤穂駅前プラット赤穂2Fの「honoka」では、スウィーツ甲子園でグランプリを獲得した赤穂塩ラスクをはじめ、菓子パン、焼きドーナツ、ワッフルの製造販売を行うとともに、新製品としてフィナンシェ、シフォンケーキの製造販売をしています。

また、花苗育成販売、定植・除草・清掃の受託作業をはじめ、グルメ甲子園でグランプリを獲得した赤穂塩大根（漬物）の製造販売等を通じて、作業工賃の向上をめざすとともに、働く楽しさや働く喜びを実感し、やりがいを感じられるよう支援しています。



▲定植作業



▲除草作業



▲honoka



▲honoka商品

その他の事業

- ・障害者就業・生活支援センター事業
- ・共同生活援助事業（グループホーム）
- ・障害者専門職業紹介事業
- 「はあと」「いちご」「きぼう」「みかん」「ともだち」「とまと」
- ・日中一時支援
- 「ひかり」「ひびき」「あかほ」「ほのか」
- ・相談支援

丹南精明園

〒669-2221 丹波篠山市西古佐700

TEL 079-594-2298 FAX 079-594-2271

E-mail info_tannan@hwc.or.jp
http://www.hwc.or.jp/seimeien/



障害者がその人らしく生き生きと
『生活する場』・『働く場』・
『ふれあう場』を提供

丹波篠山の自然に囲まれ、 充実した生活をサポート

丹南精明園は、自然豊かな風土と城下町の歴史的町並みが残る「丹波篠山」の北西部に位置しています。

利用者は、さまざまなプログラムに参加されたり、「県立高校売店」や「丹波丹(まごころ)ファーム」等で働かれたりと、日々充実した生活を送られています。



障害者支援施設

施設入所支援 93名 就労継続支援B型 15名
生活介護 110名 短期入所 4名

『生活する場』

施設入所・生活介護

隣接する県立公園への散策や、歯科衛生士による口腔衛生、また、理学療法士・作業療法士による指導・助言の下、生活リハビリの充実を図ったり、委託作業・農耕に取り組んだりと生活に潤いが持てるよう支援しています。

また、利用者の個々のニーズに対応するため、個別外出や文化教室、お菓子作り、集いカフェなどの活動プログラムをボランティアの協力を得て行っています。



▲お菓子作り



▲文化教室(読み書き計算)

『ふれあう場』 イベントを通じて地域交流

地域交流

園祭や地元の各種イベントに参加し、交流を図っています。園祭では、地元のみなさんや中学生、高校生等とふれあい、またイベントには利用者と職員で構成する「よさこいサークル舞丹」が出演し、活動を通じて交流の場を広げています。



▲よさこいサークル舞丹

『働く場』

就労継続支援B型

就労継続支援B型として丹波市北部に農地をお借りし、トマトをはじめとする新鮮野菜やいちごの栽培を行っている「丹波丹(まごころ)ファーム」の運営、隣接する公園の除草や高齢者施設での清掃委託業務に取り組んでいます。

また、近隣で開催されるイベントに参加し、揚げ物や野菜などを販売することで作業工賃の向上に取り組んでいます。



▲いちごの収穫作業

『地域で暮らす』

共同生活援助

丹波篠山市内6カ所のグループホームで、入居者の主体性を大切にしながら地域における安全、安心な生活をサポートしています。

その他の事業

- ・日中一時支援
- ・特定相談支援
- ・短期入所
- ・共同生活援助事業（グループホーム）
「にじ」「だいち」「ハッピー」「そら」「ゆめ」「ホープ」

職員 Voice



支援員
岩本 崇史

令和元年度から、さまざまな困難事例に対して支援スキルを学べるよう、外部講師をお招きしてコンサルテーション事業に取り組んでいます。

これにより、支援員の資質の向上と支援への疲弊感の軽減、また今後核となる人材の育成につながればと考えています。

その他にも、セラピストを招いたり、権利擁護等の研修会を開催するなどして、利用者様の満足が得られるように努めています。

三木精愛園

〒673-0534 三木市緑が丘町本町2丁目3

TEL 0794-85-8791 FAX 0794-85-5420

E-mail info_miki@hwc.or.jp
http://www.hwc.or.jp/seienen/



障害者支援施設

施設入所支援 74名 就労移行支援 6名
生活介護 95名 短期入所 4名

「共生社会」をめざす三木精愛園



地域に密着したユニット型施設

三木精愛園は住宅街の一角にあります。しかし、緑豊かな環境の中で、夏祭り等の地域交流事業を推進しています。

また、全室個室のユニット型新棟では、プライバシーに配慮された快適な生活空間を提供しています。



カレーハウス「moimoi」の運営

障害者の働く場づくりを目的として、園敷地内でカレーハウス「moimoi」を運営しています。季節の野菜やフルーツをたっぷり使った健康的なカレーは地域の皆様の好評を得ています。

また、団体やグループ活動の会議や食事会の場として、地域の皆様にご利用いただける地域支援室も併設しています。



moimoi▶

児童施設

日課活動の充実

日課活動の充実の1つとして、音楽療法とバランスボール教室があります。音楽に合わせて歌や楽器を演奏したり、大きなボールの上で跳ねたり転んだりして楽しく運動しています。



音楽療法▲

職員 Voice



支援員
川野 けあき

三木精愛園は知的障害者支援施設として、生活介護事業、就労移行支援事業、地域支援事業、グループホームなど多岐にわたり事業を行っています。カレーハウス「moimoi」や地域交流室の開放を通して、地域の皆様との交流も盛んな施設です。利用者様の重度・高齢化が進んでいますが、利用者様の想いを真摯に受け止め、一人ひとりのニーズに合わせた支援に取り組んでいます。

障害者就業・生活支援センター

北播磨圏域での就職を希望する方、在職中の方、離職した方に就業と生活の両面から支援します。訓練や職場実習が必要な方には事業所をあっせんし、就労能力の向上をめざします。

また、訪問型職場適応援助者（ジョブコーチ）、障害者専門職業紹介事業所、三木市障害者就労支援員等と連携し支援にあたります。



▲ボルトの穴あけ

その他の事業

- ・日中一時支援
- ・相談支援
- ・共同生活援助事業（グループホーム）
「ひまわりの家」「えんどう豆の家」「そら豆の家」「ピーナッツの家」「ココナッツの家」「うぐいす豆の家」



可能性は無限大 地域の中で 共に歩みつづける ひまわりの森

〒669-6545 美方郡香美町香住区森37
TEL 0796-36-4915 FAX 0796-20-3008

E-mail info_himawari@hwc.or.jp
<http://www.hwc.or.jp/himawari/>



ひまわりの森マスコットキャラクター
「じおまる」「エリンちゃん」



多機能型事業所ひまわりの森

〒669-6545 美方郡香美町香住区森37
TEL 0796-36-4915 FAX 0796-20-3008

生活介護 17名 就労継続支援B型 23名

多機能型事業所笑顔の森 むらおか

〒667-1311 美方郡香美町村岡区村岡182-1
TEL 0796-94-0244 FAX 0796-80-2906

生活介護 8名 就労継続支援B型 12名

森のパン屋さん ひまわり

〒667-1311 美方郡香美町村岡区村岡396(村岡中央公民館内)
TEL 0796-99-7355 FAX 0796-99-7355

働く喜び・楽しさを

ひまわりの森・ 就労継続支援B型

贈答品用の箱折りやトレイへのスポンジ貼り、アルミ缶の回収とプレス作業、委託清掃などを行い、就労への知識と技術の取得に向けた支援を行っています。また、パンの販売を行っています。



▲スponジ貼り



▲パン販売

心から笑顔に

ひまわりの森・ 生活介護

軽作業を行ったり、レクリエーション、外出、絵本の読み聞かせ、軽運動など、個々のニーズに応じた支援を行い、安定した日中生活を送っていただけるよう心掛けています。



▲ひな人形作り



▲ポリ作業

職員 Voice



支援員
岡澤 民子

笑顔の森むらおかは兵庫県北部の中山間地域にある多機能型事業所で、日中活動の支援や地域生活の拠点として大きな役割を担っています。平成31年2月に生活介護事業がスタートして1年が経ちました。職員は日々の支援に悩みながらも、それぞれの意見やアイデアを出し合うことを楽しみ、利用者様ご本人の自立を大切にした支援にチームワークで取り組んでいます。

地域に根ざし、共に生きる拠点として

ひまわりの森は、日本海に面した香美町にあります。海に面した香住地区に加え、緑豊かな村岡・中山間地を有する小代地区の3地区からなる自然豊かな町です。ひまわりの森は、香美町における障害者の日中活動を支援する場として事業を展開しています。また、共同生活援助(グループホーム)も一体的に運営し、総合的な地域生活支援を実施しています。



▲ひまわりの森



▲笑顔の森

地域に愛されるパン屋さん

村岡地区に開設したパン屋では、利用者の皆さんのが、パンの陳列やレジ打ち、ラベル作成、接客など、ご自分に合った業務に取り組まれ、生き生きと働かれています。



▲森のパン屋さん ひまわり

また、地元企業や公共機関などへの移動販売にも取り組んでいます。



▲地元高校生と交流



▲さをり織り作業



その他の事業

- ・共同生活援助事業(グループホーム)「レジデンスカスミA・B・C」
- ・日中一時支援事業

清水が丘学園

こどもたちが憩い 心の安らぎ 遊ぶ楽しさ
学ぶ仲間を見つける 陽だまりの広場

〒674-0074 明石市魚住町清水2744

TEL 078-943-0501 FAX 078-943-6598

<http://www.hwc.or.jp/shimizugaoka/>

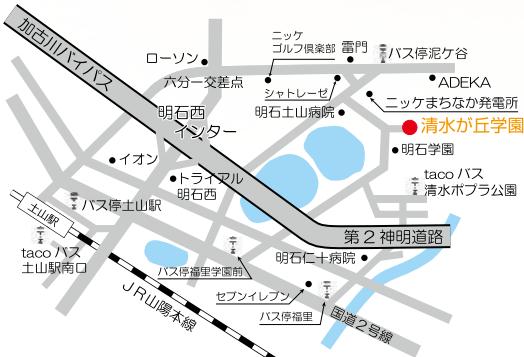


児童心理治療施設



入所 50名

通所 20名



○JR「土山」駅から徒歩30分・タクシー10分

○第二神明道路「明石西」I.C.から車で5分

○TACOバス清水西ルート「JR土山駅南口」から「清水ボプラ公園」・11分
「清水ボプラ公園」から「学園」まで・徒歩12分

外来・電話相談

外来・電話相談窓口を設け、心理治療士が不登校、いじめ等による悩みや不安を持つこどもやご家族への相談を行っています。

また、こどもの相談担当者とご家族の相談担当者を決めて、並行したカウンセリングやセラピーを行っています。こどもが来園しにくい場合には、ご家族のみの相談も行っています。



▲プレイルーム

学園祭・お楽しみ会等各種行事

学園祭を開催し、ステージ発表や模擬店を通じて地域の方と交流します。また、野球やバーレーボール、iPad、園芸活動などさまざまな活動や就労体験学習を実施し、幅広い支援を行っています。



▲社会体験学習



▲そうめん流し

障害児者施設・
児童施設

人材育成

県下の大学と連携し、年間を通して公認心理師や臨床心理士をめざす大学・大学院生の心理臨床研修や、社会福祉士をめざす大学生の実習受入を積極的に行ってています。

講師派遣等

学校や教育委員会、児童養護施設等からの要請により、講演会への講師派遣やケースカンファレンスの助言者として、心理治療士等を派遣しています。

公開講座



◀公開講座

こどもに関わる今日的問題を取り上げ、講演やフォーラム、現場からの報告などをを行い、小中高校教員、行政職員、施設職員、臨床心理士、学生等の研修の機会としています。

令和元年度は「子どもと大人のこころのつながり」をテーマに実施しました。



▲セミナー

児童心理臨床セミナー

精神科医師や大学の教授等を招いての講義や、小中高校教員、施設職員等による事例研究を行い、問題解決の方途を検討するとともに、参加者の研修を行っています。



職員 Voice



支援員
齊藤 舞

清水が丘学園では、さまざまな課題を抱えたこども達に対して各専門スタッフが連携し、総合的な援助をおこなっています。私は支援員としてこども達の生活面のサポートや、こども同士のトラブルや問題に対して、こども達の気持ちを聴きながら一緒に問題解決に取り組んでいます。さまざまな事情を抱えたこども達に対する支援は難しいことが多いですが、職員間で連携しながらチームで支援を行っています。こども達と一緒に考えることで自分自身の成長にもつながっていると感じます。

家族療法

学園に来られているひきこもりや不登校のこどもとそのご家族に、宿泊や面接等を通じて心の援助を行っています。また、被虐待児童の家族再生に力を入れています。



▲家族療法棟

子ども発達支援センター

ひとりひとりの発達に寄り添う支援

～ともに遊ぼう 考えよう みんなの笑顔のために～

〒674-0074 明石市魚住町清水2744

TEL 078-949-0902 FAX 078-943-3830

<http://www.hwc.or.jp/kodomohattatsu/>



アクセスは44ページをご覧下さい



地域と連携 早期支援につながる早期診断

発達障害を早期に診断し、早期支援につなぐために、小児科医と児童精神科医による診療体制と心理アセスメント、作業療法、言語療法、保育による療育機能を有し、診断・診療・療育を一体的に提供し支援します。センターでの診療の他、研修・出張や派遣による支援、地域の保健・医療・福祉・教育など関係機関と連携してニーズに応じた細やかな支援ができるように努めます。

診療と療育

乳幼児からおおむね15歳までを対象とし、診断・検査・投薬・リハビリテーションを実施します。遊びや療育の場での行動観察に基づき医師が総合的に診断を行い、子どもの特性に基づいた支援方法を家族とともに考え、継続的な支援につながるように地域の支援者と連携します。



▲言語療法



▲作業療法

出張発達健康相談

当センターの専門職が要望のある市町に出向きます。市町の保健師や保育士等の市町の支援者が同席のうえ発達相談を行います。



▲出張発達健康相談

派遣発達支援

市町の発達支援(相談)事業を実施する際、会議への参画や発達障害への支援の方法(検討会や保育の実際)の助言等のために、当センターの専門職(心理士、作業療法士、言語聴覚士、保育士等)を派遣します。

研修



▲令和元年度第2回スキルアップ研修

子どもが成長発達する過程で携わる保健師や保育士、支援の過程で携わる専門職の心理士、言語聴覚士、作業療法士等を対象に、支援者のスキルアップを目的とした研修を実施します。講義形式の研修では、発達に関わるさまざまなテーマでの講演を行い、実地研修では当センターの療育を見学後、療法士とともに関わり方を考えます。令和元年度の第2回スキルアップ研修では、藍野大学教授・医学博士の若宮英司先生をお招きし、「発達障害にみられる学習の苦手さ」をテーマに、ご講演をいただきました。

教育連携

県立特別支援教育センター、県や市町の教育委員会等の教育機関と連携します。幼・小・中や特別支援学校の教諭を対象に発達障害に関する研修や、情報交流を行い、互いの理解を深めます。



▲県立特別支援学校初任者研修会

職員 Voice



心理治療士
陰山 夢

子ども発達支援センターでは、多職種のスタッフが専門性を活かし、こども達の状態を見立て、こども達・保護者・支援者のそれぞれの思いに寄り添いながら、子どもの発達を総合的にサポートしています。また、センター内外での研修会や出張発達健康相談、派遣発達支援を通して地域での支援体制づくりに努めています。こども達や保護者の方一人ひとりに誠実に向き合いながら、スタッフ一同頑張っています。

情報提供等

発達障害にかかる医療機関・研修会・各市町の支援体制等の情報収集、情報の一元管理、情報提供を行います。また、保健師や保育士等、各市町の支援者への相談・助言、家族支援を行います。

》 障害福祉サービス等 《

生活介護

常に介護を必要とする人に、昼間・入浴・排せつ・食事の介護等を行うとともに、創意的な活動又は生産活動の機会を提供します。

短期入所(ショートステイ)

自宅で介護する人が病気の場合などに、短期間、夜間も含め施設で、入浴・排せつ・食事の介護等や日常生活上の支援を行います。

施設入所支援

施設に入所する人に、夜間や休日、入浴・排せつ・食事の介護等や日常生活上の相談支援等を行います。

自立訓練(機能訓練・生活訓練)

自立した日常生活又は社会生活ができるよう、一定期間、身体機能又は生活能力の向上のために必要な訓練を行います。

就労移行支援

一般企業等への就労を希望する人に、一定期間、就労に必要な知識及び能力の向上のために事業所内や企業において作業や実習等の訓練を行います。

就労継続支援(A型、B型)

一般企業等での就労が困難な人に働く場を提供するとともに、知識及び能力の向上のために必要な訓練を行います。

就労定着支援

就労移行支援等を利用して、一般企業に就労した人の雇用の継続を図るため、関係機関との連絡調整を行うとともに、日常生活及び社会生活上の相談支援等を行います。

共同生活援助(グループホーム)

夜間や休日、共同生活を行う住居で、相談・入浴・排せつ・食事の介護等の日常生活上の援助を行います。

地域移行支援

入所施設等から退所する人に対して、施設等と連携しながら地域移行に向けての支援を行います。

地域相談支援

地域定着支援

入所施設等から退所した人等に対して、地域生活継続のための支援を行います。

計画相談支援

障害児相談支援

障害のある人、又は、障害のある児童に対して、適切なサービス利用等に向けて、サービス等利用計画の作成等の支援を行います。

相談支援

障害のある人、その保護者又は介護者などからの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言等を行います。また障害のある人の権利擁護のために必要な支援を行います。

日中一時支援

障害のある人に日中における活動の場を確保し、その家族の就労支援及び介護している家族の一時的な負担軽減を図ります。

救護施設

生活保護法第38条に基づく施設で、障害種別を問わず要保護者を受け入れ、意向に添った自立支援を行うとともに、その人らしい豊かな生活の実現に向けた支援を行います。

》 児童福祉サービス等 《

障害児入所施設

児童福祉法第42条に基づき、障害のある児童を入所させて、保護するとともに、独立自活に必要な知識技能を与えることを目的とする施設です。

児童心理治療施設

児童福祉法第43条の2に基づき、家庭環境、学校における交友関係その他の環境上の理由により社会生活への適応が困難となった児童を、短期間、入所させ、又は保護者の下から通わせて、社会生活に適応するために必要な心理に関する治療及び生活指導を主として行い、あわせて退所した者について相談その他の援助を行うことを目的とする施設です。

児童発達支援

障害のある児童に、日常生活動作の指導や、集団生活に対する適応訓練等の支援を行います。

放課後等デイサービス

障害のある児童に、生活能力の向上に向けた訓練や、社会との交流が図れるように支援を行います。

万寿の家

総合リハビリテーションの機能をいかし、
安全・安心を守る万寿の家

〒651-2181 神戸市西区曙町1070
(総合リハビリテーションセンター内)

TEL 078-927-2727(代) FAX 078-925-9276

E-mail info_manju@hwc.or.jp
<http://www.hwc.or.jp/manju/>



アクセスは16ページをご覧下さい

特別養護老人ホーム

介護老人福祉施設 入所 85名 (移転後は100名)
短期入所生活介護 7名 (移転後は空床利用型)

県内最初の特別養護老人ホーム

兵庫県で最初の特別養護老人ホームとして開設された施設です。

2020年10月には神戸市北区へ移転する予定で、県下特養のトップランナーとしてロボット機器の導入及びこれに伴う介護技術を先導・発信するとともに、地域の安心拠点としてユニバーサルな施設へと展開していきます。



▲完成予定図

外国人技能実習制度の導入

ベトナムからの技能実習生を迎え入れました。高齢者介護の技術を学んで自国に持ち帰るため、日々努力をする姿勢は職員にとってもよい刺激となっています。ともに目標を達成できるよう支援しています。



▲ベトナムからの外国人技能実習生

利用者、職員双方にとって安全・安心な介護

平成30年度ノーリフティングケアモデル施設の認定を受け、持ち上げない介護を行うことで利用者にとって負担のない介護を実践しています。また、業務全般における作業姿勢や手順、用具を見直し、職員の腰痛予防に取り組んでいます。



▲スライディングシートでの上方移動介助



▲スタンディングリフトを使用したトイレ介助

個別ケアの推進

アセスメントによりさまざまな情報を収集・分析し、利用者のニーズや可能性を把握し、ご家族や他職種とも連携を図りながら希望の場所への旅行や旧友に逢いに行く等、個々の夢の実現や目標達成に向けた支援を行っています。



介護タクシーを利用して個人旅行の実現

介護ロボットの導入・推進

福祉のまちづくり研究所の協力の元、先進的な介護実現のためにさまざまな介護ロボットを導入しています。導入したロボットを有効活用し、業務改善につなげていけるよう取り組んでいます。



マッスルスーツを使用した重量物運搬



赤外線センサーによる見守りケア

多職種との連携

歯科医師や歯科衛生士との連携による誤嚥性肺炎予防のための口腔ケアやKTバランスチャートを用いた経口摂取継続のためのケア、医師との連携による看取り・褥瘡ケアを実践しています。また、メーカーとの連携による各利用者に応じたおむつケア、シンバイオティクス導入による排便コントロール、皮膚トラブルを防ぐ陰部洗浄等、快適な排泄ケアに力を入れています。



▲メーカーとのおむつケア研修

職員 Voice



支援員
成岡 桃菜

万寿の家ではボランティアの方と協力し利用者様が楽しんで過ごせるようカラオケや喫茶さくら等を行っています。季節行事等で利用者様が楽しんでいる様子や笑顔を見ることでやりがいを感じます。また今年の秋に移転することもありケア方法を見直し、利用者様・職員にとって安全で安心な介護が提供できるようノーリフティングケアに取り組んでいます。

朝陽ヶ丘荘

認知症のことなら
朝陽ヶ丘荘へ

〒679-5331 佐用郡佐用町平福138-1

TEL 0790-83-2008 FAX 0790-83-2035

E-mail info_asahi@hwc.or.jp

<http://www.hwc.or.jp/asahigaoka/>



智頭急行「平福」駅から徒歩10分
中国自動車道「佐用」I.C.から車で7分

特別養護老人ホーム

介護老人福祉施設 入所	110名
短期入所生活介護	10名
認知症対応型通所介護	12名

季節を感じる支援

朝陽ヶ丘荘では、利用者や家族の希望を伺い「夢を叶えるプロジェクト」として、季節を感じる外出や行事を行っています。畑で収穫した野菜を収穫する等、生きがいをもって潤いのある生活を送っていただけるよう取り組んでいます。



▲収穫



▲チューリップ園へ外出

職員 Voice



支援員
中村 幸奈

高校卒業後、朝陽ヶ丘荘に勤めてから1年が経ちました。毎日楽しく利用者様と接しながら業務にあたっています。利用者様は佐用町出身の方が多く、外の景色を眺めながら嬉しそうにお話しされているのを見ていると、私もほっこりした気持ちになります。利用者様にとって慣れ親しんだ町で、一人ひとりが自分らしく生活することができるよう支援を行っていきたいです。



一人ひとりの生活を豊かに、
その人らしさを応援したい

因幡街道の宿場町として栄えた風情あふれる街並みが印象の平福地区に位置し、連郭式山城として有名な利神城の城跡を望む緑深い自然に囲まれた静かな環境の中にあります。



「その人らしさを応援したい」をテーマに利用者本位のサービスの提供を日々実践しています。

可能性を見い出し、拡げる

利用者個々の健康維持、楽しみづくり、生きがいづくりとして、さまざまなサービスを提供しています。



▲ファッションショー

特に西播磨総合リハビリテーションセンターとの連携のもと、理学療法、作業療法、言語聴覚療法、音楽療法、園芸療法を行い身体機能維持を図るとともに、地元県立高校との交流も楽しみの一つとなっています。

地域に密着したサービスの提供

地域唯一の認知症対応型通所介護事業や定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業を行い支援が必要になっても住み慣れた地域の中で暮らし続けられるようにサポートしています。

地域に密着したサービス機能を充実させることをめざすとともに、「認知症カフェ」の開催運営や、佐用町と連携して認知症サポート養成講座の開催、認知症啓発活動のRUN伴へ参加する等、施設が持つ機能や人材を活用し、広く地域へ貢献しています。



▲RUN伴 佐用



平成30年10月から
「定期巡回サービス」開始▶

その他の事業

- ・居宅介護支援
- ・介護予防支援
- ・介護予防短期入所生活介護
- ・障害者短期入居
- ・定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業

たじま荘

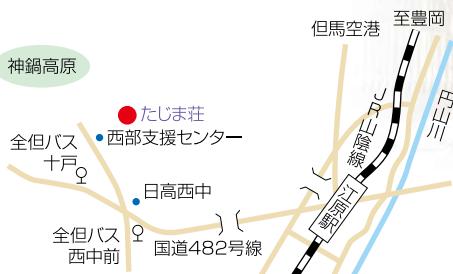
〒669-5365 豊岡市日高町十戸455

TEL 0796-44-1730 FAX 0796-43-4333

E-mail info_tajima@hwc.or.jp
http://www.hwc.or.jp/tajima/



あなたの「自分らしい生き方」を
全室個室ユニットときめ細やかなケアで
実現するたじま荘



JR山陰本線「江原」駅から全但バス利用 全但バス「西中前」下車 徒歩10分
北近畿豊岡自動車道「日高神鍋高原」I.C.から北西へ車で10分

顔が見える、寄り添う介護、共に暮らす施設づくり

兵庫県北部、神鍋高原の裾野に位置し、豊かな自然に囲まれ、移りゆく四季を感じながらやすらぎと潤いのある生活を送っていただけます。

また、居室には使い慣れた家具や思い出の写真などを持ち込んでいただき、家庭的なぬくもりのある生活空間を作り出しています。

みんなで楽しく 穏やかに

利用者・ご家族の意向に沿って、希望外出や楽しみのある生活を送っていただけるように取り組んでいます。

また、看取り介護を充実させ、最期までその人らしく、尊厳のある生活を送っていただけるように支援しています。



▲希望外出(市展見学)



▲芋煮会調理

こころのまんま自分らしく 今あるしあわせを大切に

認知症対応型通所介護事業所
通称「山ぼうし」

1日10人定員の少人数のデイサービスです。神鍋の山々に囲まれた自然豊かな環境のもと、認知症の方々一人ひとりにきめ細かく対応しています。

四季を通じて園芸、ドライブ、おやつ調理、施設行事の参加などで充実したサービスを提供しています。



▲レクリエーションの様子

●職員 Voice



支援員
上田 良子

たじま荘では、各ユニットで利用者様と野菜を育て、採れた野菜でユニット調理をしたり、季節にあった行事を行うなど、利用者様の笑顔でいっぱいです。平成30年度から「ノーリフト」を掲げ、リフトやフレックスボードなどの福祉用具を導入し、安全・安心なケアに取り組んでいます。これからも福祉用具のスペシャリストになるべく技術向上に努めています。

特別養護老人ホーム

介護老人福祉施設 入所 110名
短期入所生活介護 10名
認知症対応型通所介護 10名

地域との絆を大切に

地域交流会、盆踊り大会、オープンガーデンなど地域に開かれた施設づくりに取り組んでいます。また、毎週木曜日には「まるごカフェ」を営業し、地域住民にも開放するとともに、認知症カフェ(にじいろカフェ)やオープンセミナー、近隣地域への出前講座などを開催しています。



▲地域交流会



▲オープンガーデン

その他の事業

- ・介護予防短期入所生活介護
- ・介護予防認知症対応型通所介護
- ・支え合い通所介護
- ・豊岡市家族介護支援
- ・障害者短期入所

あわじ荘

利用者や地域から信頼され、
選ばれる施設づくりをめざします

〒656-1727 淡路市野島貴船229-1

TEL 0799-82-1950 FAX 0799-82-1754

特別養護老人ホーム

介護老人福祉施設 入所 110名
短期入所生活介護 10名
認知症対応型通所介護 12名

シルバーサポートのじま

〒656-1721 淡路市野島墓浦681-2

TEL 0799-80-2700 FAX 0799-80-2702

居宅介護支援

地域密着型通所介護 18名

E-mail info_awaji@hwc.or.jp
<http://www.hwc.or.jp/awaji/>



大切にしたい ふるさと淡路!

淡路島の北部に位置するあわじ荘は、播磨灘の水平線を見下ろす雄大な自然の中にあります。『「自由」「やすらぎ」「ふれあい」あなたしさを応援します』を運営理念に、いつまでも住み慣れた大好きな淡路で暮らし続けることができるよう、介護予防事業から尊厳を重視した施設でのターミナルケアまで、幅広いサービスを展開しながら地域福祉の向上を推進します。

笑顔の積み重ね

認知症対応型通所介護事業所

地域密着型サービスの認知症対応型通所介護・通称「ほがらかデイ」では、今日一日をかけがえのない時間として捉え、利用者の思いを大切にしながら、部屋から笑いがあふれるような支援をめざしています。

また、家族の思いを尊重し、ともに健やかに過ごしていただけるよう取り組んでいます。



▲一人ひとりに寄り添った支援

~地域で元気に暮らす~を応援

シルバーサポートのじま

リハビリディスマイル

デイサービスでは各種リハビリ機器を取り揃えています。「体力作りをサポートします」を目的にマシントレーニングを実践し、住み慣れた在宅生活の継続を支援しています。



▲予防に向けた訓練

また、入浴支援など生活支援を主体としたサービスの提供や生きがいづくりを目的とした趣味や特技を生かした活動を通じて、その人らしい日常生活をお手伝いします。



▲訪問の様子



▲ぶらっとカフェ

職員 Voice



支援員
山田 啓典

海と山に囲まれ、多くの観光客で賑わう淡路島。昭和49年10月に開設以降、地域のニーズに応え続けています。「自由」「やすらぎ」「ふれあい」あなたしさを応援しますの運営理念のもと、利用者様一人ひとりが人生の先輩として敬愛されるよう、利用者本位の待遇サービスを基本に支援しています。

居宅介護支援事業所

介護支援専門員（ケアマネジャー）が、介護保険に関する相談や質問に応じます。安心して地域で暮らすことができるよう、必要なサービス調整を行います。

地域の方が気軽に立ち寄って集える居場所として「ぶらっとカフェ」を定期的に開催しています。認知症の方や地域の方が何でも話し合える学びの場所でもあり、専門職による介護や健康に関する相談を通して、「地域で支えあい自分らしく生きる」仕組みづくりを推進していきます。

その他の事業

- ・介護予防認知症対応型通所介護
- ・介護予防支援
- ・介護予防短期入所
- ・障害者短期入所

丹寿荘

〒669-4341 丹波市市島町上竹田2336-1

TEL 0795-85-3251 FAX 0795-85-0075

E-mail tanjuso@eagle.ocn.ne.jp

特別養護老人ホーム

介護老人福祉施設 入所	90名
短期入所生活介護	10名
地域密着型通所介護	18名

グループホーム村いちばんの元気者

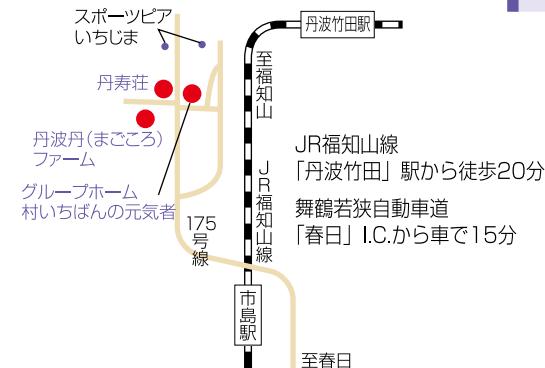
〒669-4341 丹波市市島町上竹田2322-1

TEL 0795-85-6301 FAX 0795-85-6302

E-mail muraichi@hwc.or.jp

認知症対応型共同生活介護 18名

<http://www.hwc.or.jp/tanju/>



健やかで自立した在宅生活への支援

デイサービスセンター

利用者の好みに合わせて、広いデイルームで行うレクリエーション(ボッチャ、ボーリングなど)や手芸、音楽療法、ボランティアによる演奏会など笑顔の溢れる空間をめざしています。

食事前の口腔体操など全員参加での体操を取り入れ、身体機能の維持・向上のための個別機能訓練も行っています。



▲ごぼう体操も人気です♪

職員 Voice



支援員
宇野 雄貴

丹寿荘では、近隣の小学校や園児との交流会、「地域ふれあいの集い」などの行事を通して、地域とのつながりを大切にし、利用者様が楽しみを持って日々生活していただけます。

現在、「ノーリフティングケア」に力を入れ、外部研修の受講や職員同士で伝達研修を行うなど、介護する側・される側双方において安全で安心なケアを目標に日々取り組んでいます。

地域貢献・地域交流をとおして
丹波圏域の高齢者福祉をリードする
総合福祉施設



介護予防からターミナルまで

～地域に開かれ、地域とともに歩む施設～

丹寿荘は、兵庫県の中央東端、京都府に接し、丹波市の自然豊かな風土と里山に囲まれた静かな環境の中にあります。丹寿荘では、利用者本位で質の高いサービス提供や当施設が持つ高齢者支援に関するノウハウを地域に発信するなど、地域に愛され、地域に開かれた施設運営を行っています。



一人ひとりの個性を尊重し、潤いと生きがいのある暮らしの提供

全室個室のユニット型施設として、利用者一人ひとりの主体性や生活のリズムを尊重し、家庭的な雰囲気の中での生活を提供しています。

また、外出や安全・安心で快適な入浴、食事ケア、口腔ケア等の個別ケアを実践するとともに、ユニット毎に趣向を凝らした取組を行っています。



▲お鍋の日

特別養護老人ホーム

笑顔と寄り添うケアによる「五つの大切」の実践

グループホーム 村いちばんの元気者

認知症高齢者の方に輝きを持った暮らしをしていただくため、

- ①家庭的な暮らし
- ②その人らしさ
- ③家族との絆
- ④地域とのつながり
- ⑤安全・安心

の「五つの大切」を実践しています。



▲元気100倍運動会

その他の事業

- ・居宅介護支援
- ・介護予防支援
- ・日常生活支援総合事業（通所型サービス）
- ・介護予防短期入所生活介護
- ・介護予防認知症対応型共同生活介護
- ・在宅介護支援センター
- ・障害者短期入所
- ・配食サービス事業
- ・定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業

くにうみの里 地域に愛され、信頼される施設づくりをめざします

〒656-0013 洲本市下加茂1丁目6-6

TEL 0799-22-3344 FAX 0799-22-1188

E-mail info_kuniuminosato@hwc.or.jp

http://www.hwc.or.jp/kunumi/

facebook https://www.facebook.com/kuniuminosato/

ホームページ facebook



神戸淡路鳴門自動車道「淡路島中央スマート」I.C.,
「洲本」I.C.から車で10分
洲本バスセンターから車で5分、
淡路交通バス「下加茂」バス停下車

特別養護老人ホーム

介護老人福祉施設 入所	90名
短期入所生活介護	10名
認知症対応型通所介護	12名
居宅介護支援	

彩豊かな生活を

特別養護老人ホーム

短期入所生活介護

コミュニケーションデザインの手法を取り入れ、くにうみ音楽会、くにうみ美術館、寺子屋くにうみ、ワークショップ等のさまざまな取組を行い、多くの方に来所いただき、地域の交流拠点として利用いただいている。

また、利用者・職員ともに負担が少ない安全・安心なケアが提供できるよう「持ち上げない」「抱え上げない」等のノーリフティングケアにも取り組んでいます。



▲くにうみ音楽会



▲ワークショップ(糸かけ曼荼羅)



▲寺子屋くにうみ(ピアノ教室)



▲障害者スポーツ体験(ボッチャ)

その他の事業

- ・介護予防支援
- ・介護予防短期入所
- ・介護予防認知症対応型通所介護

“つながろう”人と地域とくにうみの里

旧県立淡路病院跡地という立地条件を活かし、「コミュニケーションデザイン」の手法を取り入れ、地域交流や地域貢献を積極的にすすめ、地域に開かれた施設づくりを行っています。また、誰にでも快適に利用していただける配慮を心掛け、「ひょうご県民ユニバーサル施設(県民参加型特定施設)」に認定されました。



笑顔で過ごすひとときと一緒に!

認知症対応型通所介護 デイサービスくにうみ

デイサービスくにうみでは、「住み慣れた地域や自宅でいつまでも暮らしていきたい」この想いを大切に支援しています。季節を感じられる外出行事や、利用者一人ひとりの興味・趣味にあった活動を個別で提供します。また、「一日一笑」を合い言葉に笑顔で過ごす時間を作っています。



▲音楽療法



▲創作活動(指編み)

“あたたかい”気持ちで暮らしをサポート

居宅介護支援 あたたかプランくにうみ

住み慣れた地域や自宅で、安心して暮らし続けられるように、介護を必要とする方やご家族からのご相談を承ります。お体の状態や暮らしの中で困っていること等、お話を伺い、介護保険サービス等を利用できるように、関係機関との連絡や調整をします。

●職員 Voice



支援員
前川 貴志

くにうみの里では、地域の方々とともに季節の行事や音楽会等を開催するなど、交流を積極的に行い、利用者様がメリハリのある生活を送ることができます。また、『ノーリフティングケア(持ち上げない介護)』の取組を行っており、利用者様及び職員の双方に安全で安心なケアを実施しています。

今後も、気軽に訪れることができる施設づくりに、取り組んでいきます。

立雲の郷

〒669-5252 朝来市和田山町竹田2063-3

TEL 079-674-0088 FAX 079-674-0089

E-mail info_ritsuun@hwc.or.jp

<http://www.hwc.or.jp/ritsuunnosato/>

健康づくり・介護予防を
先導する立雲の郷



JR播但線「竹田」駅下車 徒歩約15分
北近畿豊岡道 播但連絡道「和田山」ICから約5分

とらふす道場(健康プラザ)	健康づくり・介護予防
訪問看護ステーションなでしこ	訪問看護
デイサービスあすなろ	認知症対応型通所介護 12名
グループホームたけだ遊友館	認知症対応型共同生活介護 18名
立雲の郷居宅介護支援事業所	居宅介護支援事業

専門職員の指導による気軽で楽しい健康づくり

厚生労働大臣認定 健康増進施設 とらふす道場

朝来市内で唯一、体育指導員を配置した運動施設であり、個々のニーズに応じた運動方法やプログラムを提供しています。また、朝来市との連携により介護予防教室や特定保健指導(メタボリックシンドローム予防等)のための各種運動教室を開催しています。

●主な施設 トレーニング室、スタジオ、研修室、和室



▲運動教室(スタジオ)

●休館日 日曜日、12/29~1/3

●利用時間 平日10:00~21:00
土曜・祝日10:00~18:00

気持ちに寄り添う支援

デイサービスあすなろ

認知症の方が、住み慣れた家で家族とともに暮らし続けられるよう支援しています。その人らしさを大切にしたプログラムを実施するとともに、認知症の改善・進行予防をめざして、脳リハ練習帳を使用した訓練を取り入れています。また、とらふす道場を利用した転倒予防のための体操を行っています。



▲タオル体操

職員 Voice



立雲の郷は、住み慣れた街で自分らしい生活を送れるよう支援するため、地域へ密着した事業を複数展開している健康・福祉拠点施設です。さまざまな職種の職員が、その垣根を越えて、チーム一丸(ONE TEAM)となり、利用者本位のサービスを提供しています。私の所属する「訪問看護ステーションなでしこ」では、利用者の皆様が引き続き在宅で安心して過ごしていただけるようなアプローチを心掛けています。

理学療法士
田川 明里



地域に根ざした 『健康・福祉のまちづくり』の推進拠点

朝来市の『健康・福祉のまちづくり』の推進拠点として、朝来市とのパートナーシップのもと高齢者・障害者を中心に広く市民を対象に健康・福祉に関する幅広いサービスを提供しています。また、その活動成果やノウハウを地域のさまざまな資源と連携・協働させ、市民の健康・福祉の増進に寄与しています。

24時間対応で利用者の安心を支えます

訪問看護

訪問看護ステーションなでしこ

在宅で生活する医療処置が必要な高齢者等に対し、看護師が自宅を訪問し、健康管理や傷の処置などを行います。



▲訪問看護の様子

また、日常生活上の介護方法の指導や相談、そして何より24時間対応により、利用者とご家族の安心を支えています。



▲リハビリの様子

訪問リハビリ

住み慣れた家で、元気に自分らしく過ごせるよう、理学療法士が自宅を訪問し、リハビリを実施しています。

住み慣れたまちで 自分らしく暮らそう

グループホームたけだ遊友館



▲施設外観

ご家族との絆を大切にし、持てる力を活かして、その人らしい生活ができるよう支援しています。



▲地域交流 竹田秋祭り

また、空いている部屋を利用して短期間入居のご利用が可能です。

その人らしい在宅生活を支援

立雲の郷居宅介護支援事業所

介護支援専門員(ケアマネジャー)が、利用者とご家族のご意見を伺いながら丁寧に介護保険利用のために必要な手続きやサポートを行います。

その他の事業

- ・介護予防認知症対応型通所介護
- ・介護予防訪問看護
- ・介護予防認知症対応型共同生活介護
- ・短期利用共同生活介護
- ・介護予防支援

洲本市五色健康福祉総合センター

相談から支援まで地域を結ぶ
高齢者福祉サービス拠点

〒656-1331 洲本市五色町都志太日707

TEL 0799-33-0503 FAX 0799-33-0318

E-mail go_sumoto@hwc.or.jp
<http://www.hwc.or.jp/sumoto/>



淡路交通バス西浦線「五色バスセンター」 下車徒歩30分

特別養護老人ホーム 五色・サルビアホール

介護老人福祉施設 入所 60名
地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護 20名
短期入所生活介護 10名

五色ホームヘルパーステーション

訪問介護

五色デイサービスセンター

地域密着型通所介護 18名

五色介護支援センター

居宅介護支援

五色グループホーム

認知症対応型共同生活介護 9名
生活支援ハウス 1名

グループホームひろいしの里

〒656-1333 洲本市五色町広石上113

TEL 0799-35-1201 FAX 0799-35-1201

認知症対応型共同生活介護 18名

●職員 Voice



支援員
米澤 翼

洲本市五色健康福祉総合センターでは、入所・通所・訪問介護や相談支援などさまざまなサービスを提供し、地域福祉への貢献をめざしています。地域納涼祭やサルビア文化祭、餅つき大会などの季節行事や利用者様の馴染みの場所への外出支援などを数多く企画、実施しています。利用者様一人ひとりが役割を担ってもらえることで、笑顔があふれる生活が送れるよう取り組んでいきます。



つながる“きずな”広がる“笑顔”
あなたしさのお手伝い

瀬戸内海を見渡せる海と緑に囲まれた自然豊かな環境にあります。平成21年4月から、洲本市からの指定管理を受け、「つながる“きずな”広がる“笑顔”あなたしさのお手伝い」を中心理念として運営を行っています。

笑顔が広がる支援をめざして

五色・サルビアホール

地域とのつながりを大切に、個別支援の実践を推進しています。希望の外出や特性を活かした活動などを通して、楽しみながらその人らしさが蘇る支援をめざしています。



▲お花見



▲流しそうめん



▲地域のお祭り見学

楽しみのひとときをともに

五色デイサービスセンター

地域の友人や懐かしい仲間と趣味の活動などを通じて、楽しみのひとときを提供しています。また、一人ひとりの身体機能に合わせたリハビリや入浴支援で、心身のリフレッシュができるよう、その人に合ったサービスを提供しています。



地域力フェ “千客万来”

毎週水曜日「都志カフェいっぷく」を開店し、ホッといっぷくできるつどいの場として、たくさんの地域の方々に集まっています。また、毎月1回ミニ講座も開催しています。



▲地域カフェで集いのひととき

その他の事業

- ・介護予防短期入所生活介護
- ・介護予防支援
- ・介護予防認知症対応型共同生活介護
- ・介護予防・日常生活支援総合事業（通所型サービス）
- ・介護予防・日常生活支援総合事業（訪問型サービス）
- ・障害者居宅介護

住み慣れた地域で自分らしい生活を

五色ホームヘルパーステーション

介護の必要な高齢者や障害者のニーズに応えられるよう、ホームヘルパーが自宅を訪問し、住み慣れた地域で自分らしい生活が続けられるよう支援します。



▲訪問先の調理

生きがいのある生活

五色グループホーム

五色健康道場に隣接する1ユニット9名の家庭的な生活環境で、認知症になっても役割や生き甲斐のある生活を応援します。



▲芋の苗付け



▲ボイスカウトとの交流

地域で暮らす

五色介護支援センター（居宅介護支援）

要介護・要支援の認定を受けられた方に、適切なサービスが提供されるよう、介護支援専門員（ケアマネジャー）が保健・医療・福祉等の関係機関との調整を図りながら、ケアプランを作成します。



▲仕事風景

たくさんの笑顔と 安心できる暮らしをめざして

グループホームひろいしの里

住み慣れたこの町でお互いを尊重し「なじみの関係」をつくり、家族や地域とのつながりを大切にしながら支援を行っています。

家庭的で落ち着いた雰囲気の中で今までの経験を生かし、毎日の食事づくりや買い物、掃除、野菜の栽培などを行っています。



▲焼きいも大会



▲生け花

》 高齢福祉サービス等 《

特別養護老人ホーム (指定介護老人福祉施設)

老人福祉法第5条の3、同法第20条の5及び介護保険法第8条の24、同法第86条に基づく施設で、要介護状態にある65歳以上(特定疾患の場合は40歳以上)の者であって、身体上又は精神上著しい障害があるために常時介護を必要とし、かつ、居宅において介護を受けることが困難な利用者に対し、施設サービス計画に基づいて、入浴・排せつ・食事等の介護その他の日常生活上の世話、機能訓練、健康管理及び療養上の世話を行います。

養護老人ホーム

老人福祉法第5条の3、第20条の4に基づく施設で、環境上の理由及び経済的理由により、居宅において養護を受けることが困難な者に対し養護するとともに、その者が自立した日常生活を営み、社会活動に参加するために必要な指導及び訓練その他の日常生活上の世話を行います。

短期入所生活介護 (ショートステイ)

在宅の要介護高齢者等に特別養護老人ホームに短期入所してもらい、入浴・排せつ・食事等の介護その他の日常生活上の世話と機能訓練を行います。

居宅介護支援

介護支援専門員(ケアマネジャー)が、地域の要介護高齢者等からの相談に応じ、居宅介護サービス計画を作成し、その計画に基づいた適切な介護サービスが提供できるよう、事業者等との連絡調整や便宜の提供を行います。

地域密着型通所介護 認知症対応型通所介護 (デイサービス)

在宅の要介護高齢者等にデイサービスセンターに通ってきてもらい(送迎し)、入浴、食事の提供とその介護、生活等についての相談・助言、必要な日常生活上の世話及び機能訓練を提供し、利用者の心身機能の維持とともに、社会的孤立感の解消や家族の身体的・精神的負担を軽減します。

訪問介護 (ホームヘルプサービス)

介護福祉士等の訪問介護員が、利用者の自宅を訪問し、入浴・排せつ・食事等の介護、調理・洗濯・掃除等の家事、生活等に関する相談・助言等の必要な日常生活上の世話を行います。

訪問看護

利用者が要介護状態となった場合においても、可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、保健師・看護師が利用者の自宅を訪問してその療養生活を支援し、心身の機能の維持回復を目指すことを目的とします。

認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)

介護が必要な認知症の高齢者が少人数で職員と共同で家事などを行い、ゆったりとした暮らしを提供します。

特定施設入居者生活介護

介護保険法第8条の11に基づくサービスで、養護老人ホーム等に入居している要介護者が有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう、入浴・排せつ・食事等の介護、その他の日常生活上の世話、機能訓練及び療養上の世話を行います。

在宅介護支援センター

地域の高齢者又はその家族の在宅介護等に関する総合的な相談に応じ、そのニーズに対応した各種の保健・福祉サービスが総合的に受けられるように関係行政機関や事業所と連絡調整を行います。

定期巡回・随時対応型 訪問介護看護

利用者が可能な限り自宅で自立した日常生活を送ることができるよう、定期的な巡回や随時通報への対応など、利用者の心身の状況に応じて、24時間365日必要なサービスを必要なタイミングで柔軟に提供します。訪問介護員や看護師などの連携による介護と看護の一體的なサービスを受けることができます。

浜坂温泉保養荘

くつろぎの宿 ~癒しのひとときを提供します~



〒669-6702 美方郡新温泉町浜坂775

TEL 0796-82-3645 FAX 0796-82-3647

ホームページ facebook

E-mail info_hamasaka@hwc.or.jp
http://www.hamasaka-ni.com/



JR山陰本線「浜坂」駅下車 車で10分
特急バスで大阪・神戸から約4時間



▲施設外観写真

職員 Voice



調理師
桑島 勝

浜坂温泉保養荘は、ユネスコ世界ジオパーク認定(兼日本ジオパーク)の山陰海岸ジオパーク内に位置し、海・山・川に囲まれたロケーション豊かな宿です。四季折々の食材は勿論のこと、世界が誇る『但馬牛』、冬の山陰の味覚『松葉ガニ』は絶品です!ご家族・グループでのご旅行の際は、是非とも、浜坂温泉保養荘をご指名ください。

他の事業

・要援護者・介護者の集い(機能訓練事業)・感謝デー

バリアフリー対応 「すべての人」にやさしい宿

障害者やその家族をはじめ、誰もが気軽に宿泊・休憩できる施設です。館内にはスロープや手すりが整備され、車いすのまま入室できる部屋やリフター付きの介助浴室等があり、障害者のみならず高齢者にもやさしいバリアフリー設計になっています。卓球等スポーツのできるトレーニング棟や自炊ができる台所付きの長期滞在棟4室(湯治の宿「小春日」)もあります。



▲介助浴室

真のくつろぎを 浜坂温泉

国民温泉保養地に指定されている「浜坂温泉」にある当荘の温泉は、源泉地から配湯されており湯量が豊富です。浴用の適応症は、リウマチ性疾患・運動器障害・創傷・慢性疾患などに効能がある自慢の温泉です。また、世界ジオパークネットワークに認定された山陰海岸ジオパーク内に位置しており、雄大な大自然の中で心身ともに癒し、リフレッシュしていただけます。

施設概要 チェックイン…午後3時 チェックアウト…午前10時 駐車場…無料(30台)

施設設備 研修室(2室)・トレーニング室・カラオケルーム・サウナ室・食堂・喫茶コーナー・売店

温泉 泉質…ナトリウム、カルシウム、塩化物泉 効能…リウマチ性疾患・運動器障害・創傷など

アメニティ 浴衣・陣羽織・バスタオル・フェイスタオル・歯ブラシ
※浴室にシャンプー・リンス・ボディソープ・石鹼がございます。



▲姿ガニ



▲長期滞在棟

障害者更生センター

宿泊定員80名(和室14室、洋室2室、和洋室7室)

その他施設

3つの約束

守ります

法定速度を守ります



ゆずります

横断歩道では歩行者優先の運転を行います。



やさしい

ゆとりをもった運転、やさしい運転を心掛けます

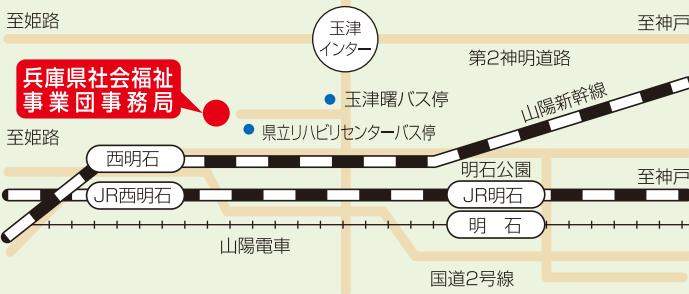


高齢の方、障害のある方が
乗っておられます

法定速度を守っています

↑ お先にどうぞ

(社福)兵庫県社会福祉事業団



お問い合わせ先

社会福祉法人

兵庫県社会福祉事業団

〒651-2134 神戸市西区曙町1070 (総合リハビリテーションセンター内)

TEL(078)929-5655(代表) FAX(078)929-5688

URL <http://www.hwc.or.jp/> E-mail:info@hwc.or.jp